J Z

KL-M5

取扱説明書 保証書別添

ご使用の前に本書の「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
本書はお読みになった後も、大切に保管してください。

はじめに

準備編

おためし印刷編

ラベル作成編

入力・編集編

設定編

付録

RCA502543-001V01

CASIO

ご 注 意

本書の著作権およびソフトウェアに関する権利はすべてカシオ計算機株式会社に帰属します。

本書に記載されている各会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

© Copyright 2005 CASIO COMPUTER CO., LTD. All rights reserved.

当社では「廃棄物ゼロ」を実現するため、使用済みのテープカートリッジを回収/分解し、再資源化しております。
使用済みのテープカートリッジはお買い求めの販売店までお持ちください。

ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願いいたします。

あらかじめご承知いただきたいこと

- ■本書はKL-M5について説明しています。
- ■本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点やお気付きの点などがありましたらカシオテクノ修理相談窓口までご連絡ください。
- ■本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- ■故障、修理、その他の理由に起因するメモリー内容の消失による、損害および逸失利益等につきまして、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- ■本書の一部または全部を無断で複写することは禁止されています。個人としてご利用になる他は、著作権法上、当社に無断では使用できませんのでご注意ください。
- ■本書の内容は改良のため、将来予告なく変更することがあります。
- ■本書は、紙メディアである性質上、この中に説明されているソフトが完成するかなり前に印刷されます。このため、本書の印刷終了後に行われたソフトウェア上の細部の変更、また画面の変更などに、一部対応しない部分が出る可能性があります。また、本文中の印刷例や表示画面などは、実物と多少異なる場合があります。ご了承ください。

安全上のご注意

このたびは本機をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用になる前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。本書は、お読みになった後も、いつでも見られる場所に保管してください。

⚠ 危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険がさし迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

⃠記号は「してはいけないこと」を意味しています（左の例は分解禁止）。

●記号は「しなければならないこと」を意味しています。

⚠ 危険

アルカリ電池について

アルカリ電池からもれた液が目に入ったときは、すぐに次の処置を行ってください。

1. 目をこすらずにすぐにきれいな水で洗い流す。
2. ただちに医師の治療を受ける。

そのままにしておくと失明の原因となります。

⚠ 警告

煙、臭い、発熱などの異常について

煙が出ている、へんな臭いがする、発熱しているなどの異常状態のまま使用しないでください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。

1. 電源スイッチを切る。
2. プラグをコンセントから抜く。
3. お買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口に連絡する。

ACアダプターについて

ACアダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となります。
次のことは必ずお守りください。

- 必ず付属品を使用する
- 電源は、AC100V(50/60Hz)のコンセントを使用する
- 1つのコンセントにいくつもの電気製品をつなぐ、いわゆるタコ足配線をしない

⚠ 警告

ACアダプターについて

電源コードは使いかたを誤ると、傷がついたり破損して、火災・感電の原因となります。
次のことは必ずお守りください。

- 重いものを乗せたり、加熱しない
- 加工したり、無理に曲げない
- ねじったり、引っ張ったりしない
- 電源コードやプラグが傷んだらお買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口に連絡する

ACアダプターについて

- 濡れた手で電源コードやプラグに触れないでください。
  感電の原因となります。
- AC アダプターは水のかからない状態で使用してください。水がかかると火災や感電の原因となります。
- AC アダプターの上に花瓶など液体の入ったものを置かないでください。水がかかると火災や感電の原因となります。

⚠ 警告

電池について

電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となります。次のことは必ずお守りください。

- 分解しない、ショートさせない
- 加熱しない、火の中に投入しない
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
- 種類の違う電池を混ぜて使用しない
- 充電しない
- 極性(＋と－の向き)に注意して正しく入れる

落とさない、ぶつけない

本機を落としたときなど、破損したまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。

1. 電源スイッチを切る。
2. プラグをコンセントから抜く。
3. お買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口に連絡する。

分解・改造しない

本機を分解・改造しないでください。感電・やけど・けがをする原因となります。
内部の点検・調整・修理はお買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口にご依頼ください。

⚠ 警告

水、異物はさける

水、液体、異物(金属片など)が本機内部に入ると、火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。

1. 電源スイッチを切る。
2. プラグをコンセントから抜く。
3. お買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口に連絡する。

火中に投入しない

本機を火中に投入しないでください。破裂による火災・けがの原因となります。

袋をかぶらない、飲み込まない

本機が入っていた袋をかぶったり飲み込んだりしないでください。窒息の原因となります。
特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

電子レンジでの加熱に使う容器にはラベルを貼らない

電子レンジでの加熱に使用する容器には、ラベルを貼らないでください。ラベルに使用している材質に金属が含まれているため、電子レンジで加熱すると発火や火傷の原因となります。
また、ラベルを貼ったものが変形することがあります。

⚠ 注意

ACアダプターについて

ACアダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。

- ストーブ等の熱器具に近づけない
- プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない(必ずACアダプター本体のプラグを持って抜く)
- プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
- 旅行などで長期間使用しないときはプラグをコンセントから抜く
- ご使用後は電源スイッチを切り、プラグをコンセントから抜く
- ACアダプターの刃と刃の周辺部分にほこりがたまらないように、コンセントから抜いて、年1回以上清掃する。

電池について

電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。

- 本機で指定されている電池以外は使用しない
- 長時間使用しないときは、本体から電池を取り出しておく

⚠ 注意

大切なデータは控えをとる

本機に記憶させた内容は、ノートに書くなどして本機とは別に必ず控えを残してください。本機の故障、修理や電池消耗などにより、記憶内容が消えることがあります。

重いものを置かない

本機の上に重いものを置かないでください。
バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

置き場所について

本機を次のような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

- 湿気やほこりの多い場所
- 調理台のそばなど油煙が当たるような場所
- 暖房器具の近く、ホットカーペットの上、直射日光が当たる場所、炎天下の車中など本機が高温になる場所

⚠ 注意

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や高い棚の上など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

乾電池のセットおよび乾電池交換時の注意

本機電池収納部内の電池バネには、鋭利な部分があります。「乾電池をセットするとき」や「乾電池を交換するとき」には、電池バネには触らないでください。指を切るおそれがあります。

表示画面について

- 液晶表示画面を強く押したり、強い衝撃を与えないでください。
  液晶表示画面のガラスが割れてけがの原因となることがあります。
- 液晶表示画面が割れた場合、表示画面内部の液体には絶対に触れないでください。
  皮膚の炎症の原因となることがあります。
- 万一、口に入った場合は、すぐにうがいをして医師に相談してください。
- 目に入ったり、皮膚に付着した場合は、清浄な流水で最低15分以上洗浄したあと、医師に相談してください。

⚠ 注意

高温注意

プリンターヘッドおよびまわりの金属部分には触らないでください。高温になるため、やけどするおそれがあります。

オートテープカッターに注意する

電源を入れたときや印刷中は、プリンターヘッドやテープ通路付近に触れないでください。
オートテープカッターが動くことがあり、けがをする恐れがあります。

テレビ・ラジオのそばでのご使用について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

ご使用上の注意

本機を末ながくご愛用いただくために以下の点にご注意ください。

- 直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、静電気の発生しやすい場所、急激な温度変化がおこる場所、極端な高低温下での使用は避けてください。使用温度範囲は、10℃～35℃です。
- 10℃未満の低温下で使用すると、電池の特性上、電池容量が低下するため画面に「電池残り少」と表示されやすくなります。その場合は、本機を使用温度範囲(10℃～35℃)の環境に戻してからご使用ください。
- 強い衝撃や大きな力を加えないようにご注意ください。
- プリンター部分にクリップやピンなどを落とさないでください。
- テープを無理に引き出したり、押し込んだりしないでください。
- プリンターヘッドが汚れると、印字が不鮮明になります。この場合は、お手入れの方法（68ページ）をご覧になり、プリンターヘッドやゴムローラーをきれいにしてください。
- 本機を直射日光などの強い光が当たる場所で使用した場合、本機内部にある光センサーが誤動作を起こしエラーメッセージを表示することがあります。強い光が当たらない場所でお使いください。

もくじ

こんなことができます …… 9

準備編 …… 10
各部の名前とはたらき …… 10
付属品を確認しましょう …… 11
本機を使う前の準備 …… 12
電源について …… 13
ACアダプターで使う …… 13
データの保持について …… 14
はじめて使うときは「メモリーの初期化」を！ … 15
電源を入れる・切る …… 15
オートパワーオフ(節電)機能について …… 15
印刷する文章の作り方について …… 16
テープカートリッジを取り付ける/取り外す … 17
テープカートリッジを取り付ける …… 17
テープカートリッジを取り外す …… 18
キーのはたらき …… 19
キーの表記について …… 20
画面の見かた …… 21

おためし印刷編 …… 22
まずは作ってみましょう …… 22
ラベルに印刷する …… 22
ラベルを貼る …… 24
テープを空送りする …… 24
テープの余白を「送り無」にしたときは …… 24
終了する …… 25

ラベル作成編 …… 27
ラベル作成の流れ …… 27
操作の流れ …… 27
フォーマットを選んで作る(用途別ラベル) … 28
フォーマットを選ぶ …… 28
通し番号のついたラベルを作る(ナンバリング) … 30
ナンバリングの種類 …… 30
フリーラベル
自由に入力して作る(フリーラベル) …… 32
フリーラベルを作る …… 32
2行以上のラベルを作る …… 33
ラベルの書式を決める …… 34
ラベルの長さを自由に決める …… 36
文章のバランスを整える(割付) …… 37
文字の大きさを決める …… 38
フレームをつける …… 40
縦書きのラベルを作る …… 41
印刷とカットモード …… 42
カットモードについて …… 42
カットのしかたと余白について …… 44
作成したデータを登録する・呼び出す …… 45
データを登録する …… 45

登録したデータを呼び出す …… 45

入力・編集編 …… 47

カーソルのはたらきと動かしかた …… 47
ローマ字入力？それともかな入力？ …… 48
ローマ字入力とかな入力を切り換える …… 48
入力する文字の切り替え方法 …… 48
ひらがな・カタカナの入力 …… 48
アルファベット(大文字・小文字)の入力 …… 48
ひらがな・カタカナの入力 …… 49
ひらがなの入力 …… 49
カタカナの入力 …… 49
いろいろな文字の入力方法 …… 50
漢字の入力 …… 50
文章を入力してから変換する …… 50
同音異義語を変換する …… 51
漢字1文字ずつ変換する(単漢字変換) …… 52
アルファベットや数字の入力 …… 53
アルファベット(大文字)の入力 …… 53
アルファベット(小文字)の入力 …… 54
数字の入力 …… 54
記号の入力 …… 54
キーに印刷されている記号 …… 54
その他の記号 …… 55
絵文字の入力 …… 55
文字を修正・削除するときは …… 56
間違った文字を消す …… 56
すべての文字を消す(文削除) …… 57
間違った文字を直す …… 57
文字が抜けていたら・・・ …… 59
書体(フォント)を変える …… 59
入力済みの文字の書体を変える …… 60
電源を入れたときの書体を決める …… 60
文字を目立たせる …… 61
文字に飾りをつける …… 62

設定編 …… 63

設定を変える …… 63
設定できる項目 …… 63
画面の明るさを変えたい …… 63
印刷の濃さを変えたい …… 64
サンプルデータを印刷する(デモ印刷) …… 64

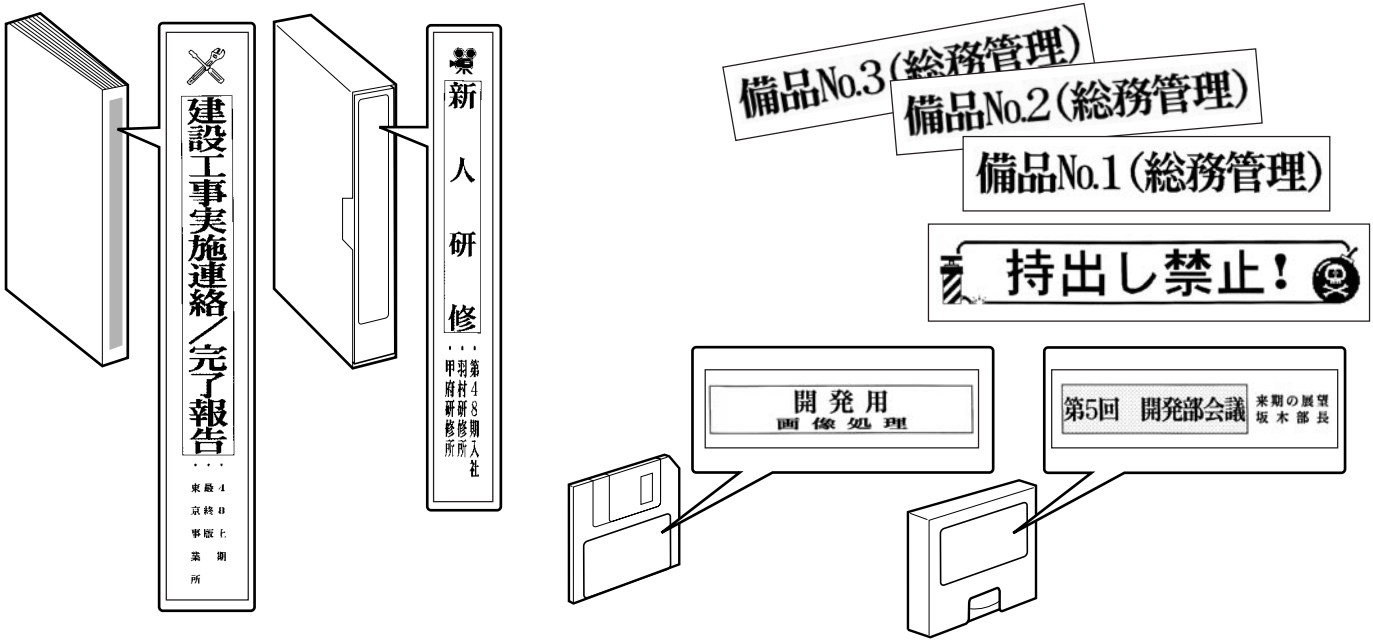
付録 …… 67

電源について …… 67
乾電池で使う …… 67
お手入れの方法 …… 68
綿棒できれいにする …… 68
クリーニングテープを使う …… 69
こんなときは(トラブルシューティング) …… 69
エラーメッセージ一覧 …… 72
ローマ字入力一覧 …… 74

記号・絵文字一覧 …… 76
フレーム一覧 …… 79
用途別ラベルフォーマット一覧 …… 80
ナンバリングフォーマット一覧 …… 83
テープ幅と行数・倍率一覧 …… 83
各機能における使用可能テープ幅一覧 …… 83
内蔵漢字一覧 …… 84
仕様 …… 89
別売品一覧 …… 91
索引 …… 93
保証・アフターサービスについて …… 95

こんなことができます

ビデオカセットや名前などの定番ラベルから、お好みのレイアウトで作成することができるラベルまで、さまざまな印刷ができます。



各部の名前とはたらき

ON
電源を入れるときに押します。

表示画面

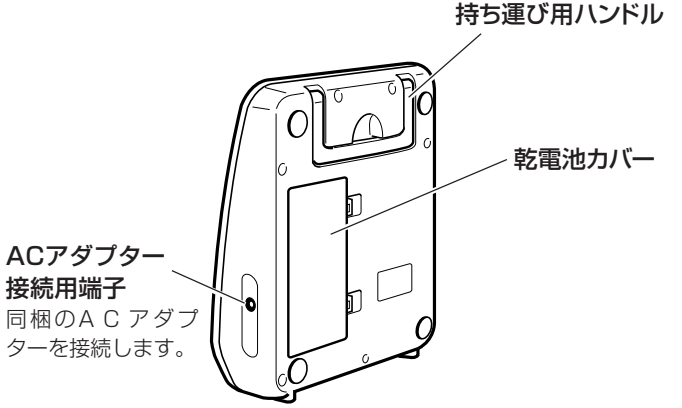
OFF
電源を切るときに
押します。

キーボード

テープ
出口

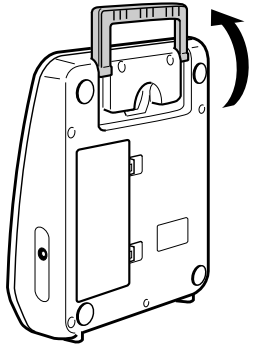
テープカートリッジ
収納部

テープカートリッジ収納部
オープンボタン



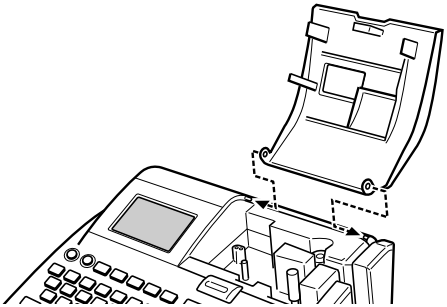
■持ち運ぶときは

本機を持ち運ぶときは、図のように持ち運び用ハンドルを引き上げてお使いください。



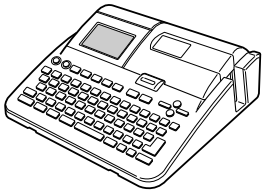
■テープカートリッジ収納部のカバーが外れてしまったら

テープカートリッジ収納部のカバーが外れてしまったときは、図のようにセットしてください。カバーを無理な方向に曲げたりねじったりすると、突起や穴が破損する恐れがありますのでご注意ください。

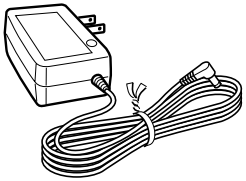


付属品を確認しましょう

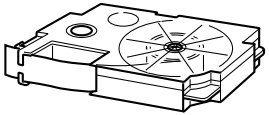
KL-M5本体



ACアダプター
AD-A12090L



テープカートリッジ

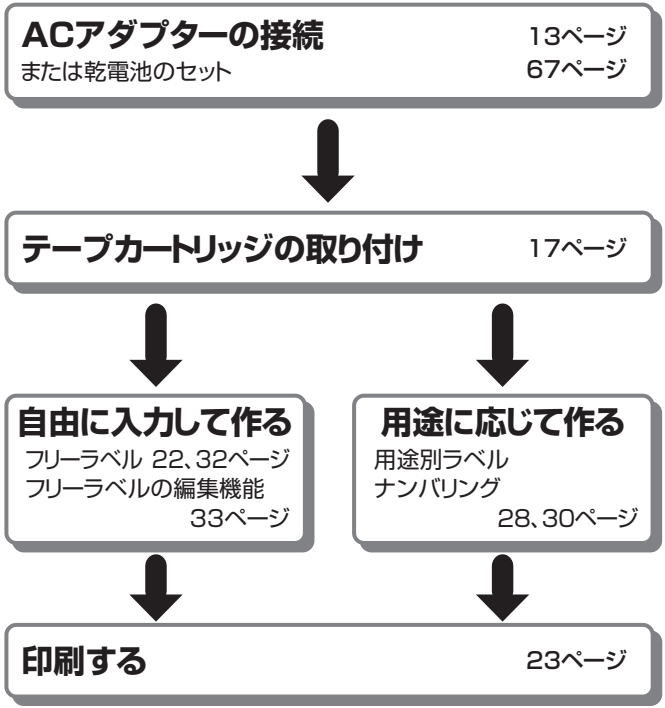


本書

保証書

本機を使う前の準備

操作の流れ



電源について

本機を使うときは、電源として同梱のACアダプターまたは市販のアルカリ乾電池を使います。

• 市販の乾電池のセットのしかたは、67ページをご覧ください。

ACアダプターで使う

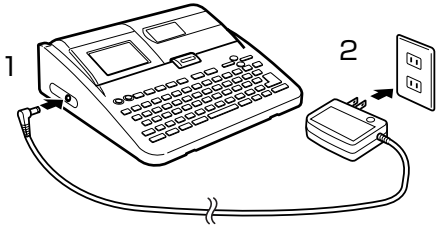
同梱のACアダプター(AD-A12090L)を使用すると、乾電池をセットしなくても本機を使うことができます。

■取り付ける

重要
- 同梱のACアダプター以外は使用しないでください。
- 「電池からACアダプターに切り替えるとき」「ACアダプターから電池に切り替えるとき」は、必ず、一度電源を切ってからACアダプターの接続や電池のセットをしてください。電源を入れた状態で行うと、電源が切れて作成中の文章が消去される場合があります。

1 ACアダプターのプラグを、本機のACアダプター接続用端子に差し込みます。

2 ACアダプターをご家庭のコンセント<AC100V>に差し込みます。



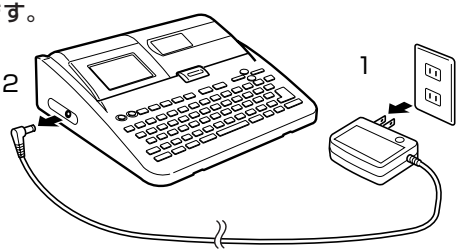
■取り外す

重要
- 印刷中にACアダプターを取り外さないでください。故障の原因となります。
- 電源が入っているときや、電源を切った後も表示が画面から完全に消えるまでは、ACアダプターや乾電池(67ページ)を取り外さないでください。一時的に保存された作成中の文章や本機に登録した文章、設定された内容が消去されてしまいます。

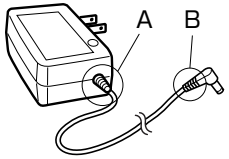
1 (OFF) を押して電源を切ります。

2 コンセントからACアダプターのプラグを抜きます。

3 本機のACアダプター接続用端子からACアダプターのプラグを抜きます。



重要 電源コードの両端部分(図のAおよびB)は、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。また、電源コードの両端部分が折り曲げられた状態で保管しないでください。コードが断線して故障の原因となります。



⚠ 警告

ACアダプターについて

ACアダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となります。
次のことは必ずお守りください。

- 必ず付属品を使用する
- 電源は、AC100V(50/60Hz)のコンセントを使用する
- 1つのコンセントにいくつもの電気製品をつなぐ、いわゆるタコ足配線をしない

ACアダプターについて

電源コードは使いかたを誤ると、傷がついたり破損して、火災・感電の原因となります。
次のことは必ずお守りください。

- 重いものを乗せたり、加熱しない
- 加工したり、無理に曲げない
- ねじったり、引っ張ったりしない
- 電源コードやプラグが傷んだらお買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口に連絡する

ACアダプターについて

- 濡れた手で電源コードやプラグに触れないでください。感電の原因となります。
- ACアダプターは水のかからない状態で使用してください。水がかかると火災や感電の原因となります。
- ACアダプターの上に花瓶など液体の入ったものを置かないでください。水がかかると火災や感電の原因となります。

⚠ 注意

ACアダプターについて

ACアダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。

- ストーブ等の熱器具に近づけない
- プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない(必ずACアダプター本体を持って抜く)
- ACアダプターのプラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
- 旅行などで長期間使用しないときはACアダプターのプラグをコンセントから抜く
- ご使用後は電源スイッチを切り、ACアダプターのプラグをコンセントから抜く
- ACアダプターの刃と刃の周辺部分にほこりがたまらないように、コンセントから抜いて、年 1 回以上清掃する。

データの保持について

- 電源が入っている状態でACアダプターや乾電池(67ページ)を取り外さないでください。一時的に保存された作成中の文章や本機に登録した文章、設定された内容が消去されてしまいます。
- 本機に登録しているデータ(文字や文章など)は、ノートなどに控えをとっておいてください。

はじめて使うときは「メモリーの初期化」を!

ご購入後、本機をはじめて使うときは、必ず**メモリーの初期化**という操作をします。「メモリーの初期化」をしないと、正しく動かないことがあります。

重要 メモリーの初期化をすると、本機に記憶したデータが消えてしまいますので、必要のないときはメモリーの初期化をしないでください。

1 **電源が切れていることを確認します。**
画面に何か文字があるときなど電源が入っているときは、(OFF)を押します。

2 **印刷と取消しをいっしょに押しながら、(ON)を押します。**
- 印刷、取消し、(ON)を押していた指はほぼ同時に離します。
- 「メモリー初期化　実行／取消し」が表示されます。

3 **実行を押します。**
メインメニュー画面が表示されます。

メモリーとは
本機内部にあり、作成した文章などを記憶する場所です。

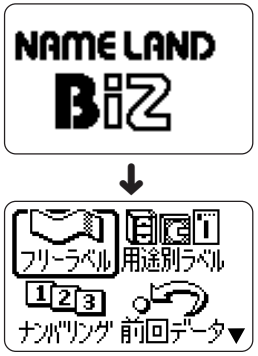
「メモリーの初期化」とは
本機が正常な動作をするために、電気的な設定を行うことです。
「メモリーの初期化」を行うと、画面に表示されている文章とメモリーに記憶されているデータは消えてしまいます。
また、いろいろな設定も製造時に定められた設定に戻ります。

電源を入れる・切る

いちど「メモリーの初期化」をしたら、次からは(ON)を押すだけで本機が使えます。

電源を入れるには…

(ON)を押します。



電源を切るには…

(OFF)を押します。

ACアダプターを取り外す前に、画面に何も表示されていないことを確認してください。確認できたら、ACアダプターを取り外してください。

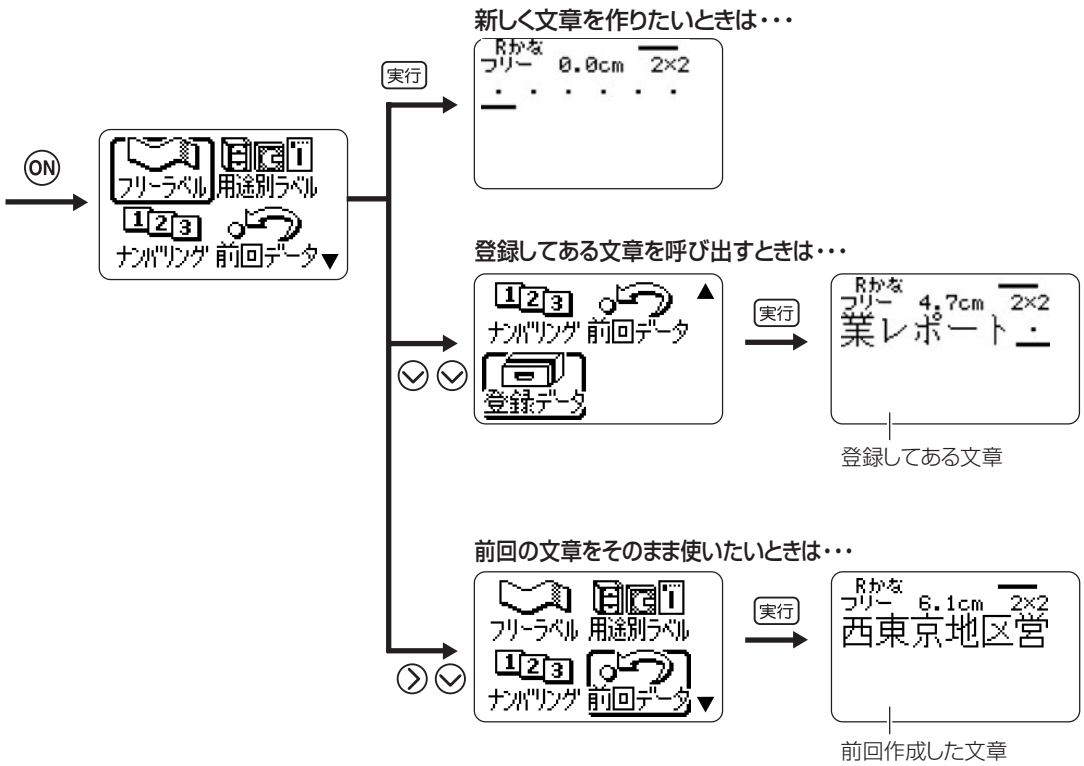
- 画面の明るさを調整するときは、63ページをご覧ください。

オートパワーオフ(節電)機能について

何も操作をしないで、約6分間電源を入れたままにしておくと、電源は自動的に切れます。これを**オートパワーオフ機能**といいます。
ふたたび本機を使うときは、(ON)を押してください。

印刷する文章の作り方について

本機では、文章の作り方について、次の3つがあります。



- メインメニュー画面で「前回データ」以外を選択したときや、デモ印刷をすると、前回作成したデータは消えてしまいます。大切なデータは、登録してから上記の操作を行ってください。（データの登録→45ページ）

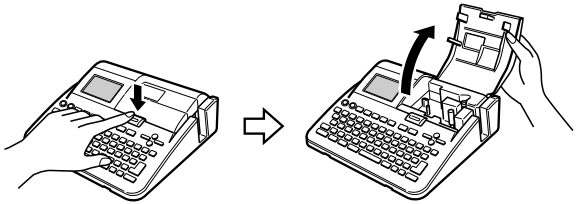
テープカートリッジを取り付ける/取り外す

ラベルに印刷するときには、テープカートリッジが必要です。
付属品および別売のテープカートリッジをお使いください。(別売品一覧→91ページ)

テープカートリッジを取り付ける

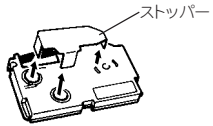
1 (OFF) を押して、電源を切ります。

2 収納部オープンボタンを押して、テープカートリッジ収納部のカバーを開けます。

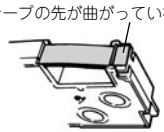


重要 カバーの開閉時には、「可動範囲以上に動かそうとする」などの無理な力を加えないようにしてください。無理な力を加えると、故障や破損の原因となります。

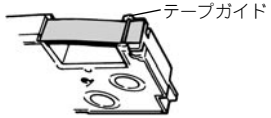
3 テープカートリッジについているストッパーを取り外します。



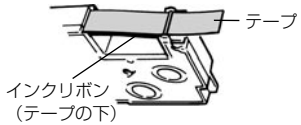
4 テープの先が折れ曲がっていないことを確認します。
テープの先が折れ曲がっていたら、ハサミで曲がった部分を切ってください。



5 テープがテープガイドにきちんと通っているか確認します。
テープガイドから外れているときは、イラストのようにラベルの先をテープガイドに通してください。

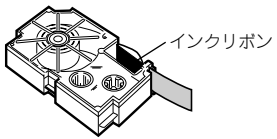


6 テープを約3cm引き出します。



重要
- 一度引き出したテープを戻すことはできません。
- 無理に引き出さないでください。インクリボンが切れるなど、故障の原因になります。

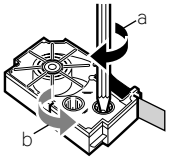
7 インクリボンがたるんでいないか、確認します。



重要 インクリボンがたるんだままテープカートリッジをセットすると、インクリボンが切れるなど、故障の原因になります。

インクリボンがたるんでいたら、たるみをとります

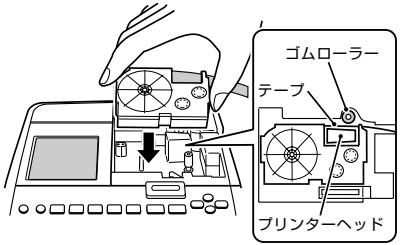
インクリボンがたるんでいたら、aのように、右上の軸をえんぴつなどで矢印方向に回します。bの方向に左下の軸が回りはじめるまで右上の軸を回してください。
このとき、テープはいっしょに動きません。

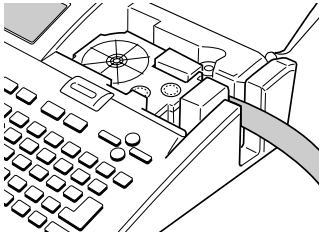


8 テープカートリッジをセットします。

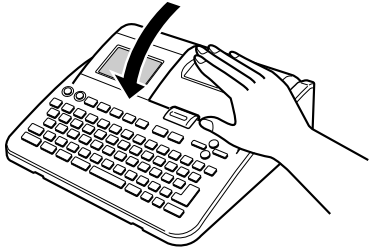
インクリボンが引っかからないように注意しながら、テープとインクリボンがプリンターヘッドとゴムローラーの間を通るように取り付けます(下図)。テープカートリッジはカチッと音がするまで奥に押し込んでください。

重要 正しくセットしないと、リボン切れの原因となります。





9 テープカートリッジ収納部のカバーを閉めます。



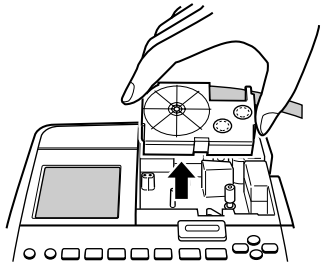
- カバーは、カチッと音がするまでしっかりと閉めてください。
- テープカートリッジをセットしたら、テープを引き出したり押し込んだりしないでください。

テープカートリッジを取り外す

1 (OFF) を押して電源を切ります。

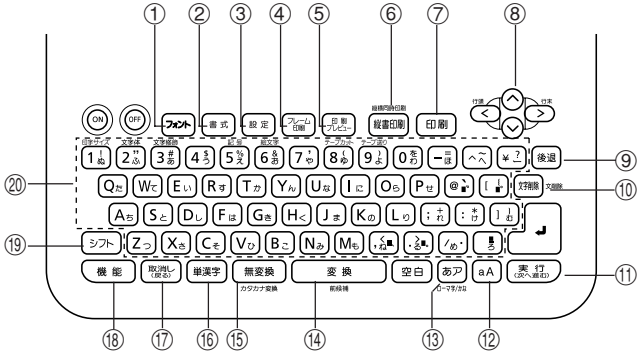
2 収納部オープンボタンを押して、テープカートリッジ収納部のカバーを開けます。

3 テープカートリッジの左右に指を入れて、まっすぐ上に引き抜きます。



キーのはたらき

ここではキーの主な使いかたについて説明します。



①	フォント	フォント(書体)を選ぶときに押す。
②	書式	書式を設定するときに押す。
③	設定	文字の入力方法や画面の明るさなどの設定をするときに押す。
④	フレーム印刷	フレーム印刷をするときに押す。 • フリーラベル以外では使用できません。
⑤	印刷プレビュー	印刷結果を画面で見るときに押す。
⑥	縦横同時印刷 縦書印刷	縦書き印刷をするときに押す。 • 縦横同時印刷をするときは、機能を押し指を離してからこのキーを押す。 • フリーラベル以外では使用できません。
⑦	印刷	印刷するときに押す。
⑧		• 文字が入る位置を示した_や、文字編集などのときに範囲を指定する■を動かすときに押す。 • 項目などを選択するときに押す。
⑨	後退	カーソルの前の文字を消すときに押す。
⑩	文削除 文字削除	• カーソルの上の文字を消すときに押す。 • 入力中の項目の文章をすべて消すときは、機能を押し、指を離してからこのキーを押す。
⑪	実行	操作を進めるときに押す。
⑫	aA	アルファベットの小文字と大文字を使い分けるときに押す。(53ページ)

⑬	あア ローマ字/かな	•ひらがなとカタカナを使い分けるときに押す。 （49ページ） •ローマ字入力とかな入力を切り換えるときは、機能を押し、指を離してからこのキーを押す。
⑭	変換 前候補	•ひらがなを漢字などに変換するときに押す。 •1つ前の変換に戻るとき（前候補）は、機能を押し、指を離してからこのキーを押す。
⑮	無変換 カタカナ変換	•漢字に変換しないでひらがなのまま確定するときに押す。 •入力中のひらがなをカタカナに変換するときは、機能を押し、指を離してからこのキーを押す。
⑯	単漢字	1文字ずつ漢字に変換するときに押す。
⑰	取消し	操作を戻したり、中止したりするときに押す。
⑱	機能	キーの上下または横に機能と同じ色で書かれている機能を使いたいときは、まずこのキーを押す。
⑲	シフト	•かな入力のとき、「っ」や「ょ」などの促音・拗音を入れる場合に押す。（50ページ） •アルファベットを入力しているとき、1文字だけ大文字（または小文字）を入れる場合に押す。 （53ページ）
⑳	（文字キー）	文字を入れるときに押す。

キーの表記について

●本文中では、操作手順の中で使うキー（ボタン）を1 ぬ↑や実行などのように表記しています。

例 1 ぬ↑を押したあとに続けて実行を押すときの表記

↓

1 ぬ↑ 実行と押します。

●本機のキーの上下または横に機能と同じ色で書かれている機能（「文字修飾」や「カタカナ変換」など）を使うには、機能を押し、指を離してから機能と同じ色で書かれている機能名のキーを押します。

例 「文字修飾」機能を使うときの表記

↓

機能を押し、指を離してから3 あ#（文字修飾）を押します。

●操作手順の中で、「△ ▽ ◁ ▷を押して…」「△ ▽を押して…」「◁ ▷を押して…」と表記されているときは、そのキーのどれかを何回か押してください。4つまたは2つのキーすべてを押す必要はありません。

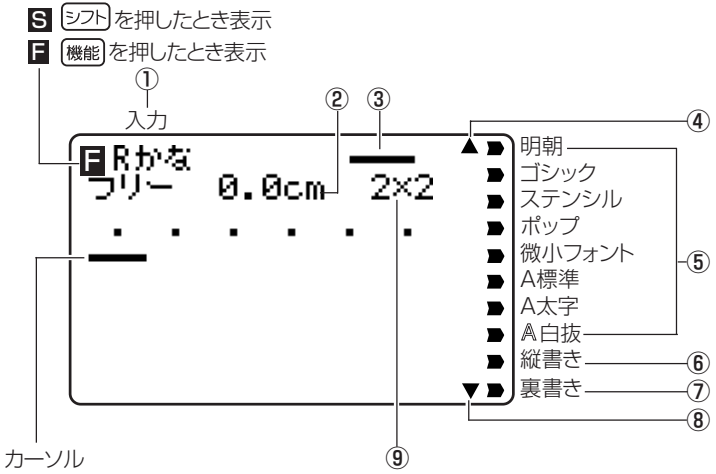
●1つ前の画面に戻りたいときや、操作をやり直したいときは取消しを押します。

●取消しを何回押しても希望の画面に戻らないときは、OFFを押して一度電源を切ります。ONを押して再び電源を入れて、はじめから操作をやり直してください。

画面の見かた

本機の画面には、いろいろなマークが出てきます。ここではそのマークの意味やはたらきについて説明します。

・画面の明るさを変えるときは、63ページをご覧ください。



①	入力できる文字の種類を示す。(48ページ)
②	いま作っているラベルの長さを示す。(36ページ)
③	フリーラベルを選択したときのレイアウトを示す。(33ページ)
④	いま見えている画面より上にも文字などがあることを示す。
⑤	書体(フォント)、文字体が何になっているかを示す。(59ページ、61ページ)
⑥	縦書きになっていることを示す。(41ページ)
⑦	裏書きになっていることを示す。(34ページ)
⑧	いま見えている画面より下にも文字などがあることを示す。
⑨	文字のサイズを示す。(38ページ)

まずは作ってみましょう

準備ができたら、試しに「ラベルの印刷」をしてみましょう。

ラベルに印刷する

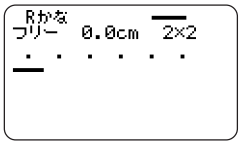
[印刷例]

営業レポート

1 (ON) を押して、電源を入れます。

2 ◯◯◯◯を押して作りたいラベルの種類を選び、[実行]を押します。

ここでは「フリーラベル」を選びます。

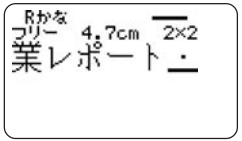


3 文字を入力します。

ここでは「営業レポート」と入力します。

- 文字の入力方法については、25ページをご覧ください。

続いて、ラベルに印刷します。



4 [実行]を押します。

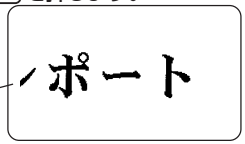
■印刷結果を画面で確認する

印刷する前に、印刷結果を画面で確認することができます。テープカートリッジをセットしていないと、印刷結果を画面で確認することはできません。

1 [印刷プレビュー]を押します。

どのように印刷されるのか、そのイメージが画面に流れます

2 じっくりと見たい部分が流れてきたら、[実行]を押します。



その部分が止まります

[実行]を押すと、再びプレビュー画面が流れます。

- プレビュー表示を中止するときは[取消し]を押します。
- 細い線のある文字や字画の多い漢字は正しくプレビュー表示されない場合があります。

■印刷する

作成したラベルは簡単に印刷できます。複数枚を連続して印刷することもできます。また、テープをカットするかどうかを選ぶことができます。

重要 印刷する前に、テープ出口（10ページ）が物などでふさがっていないことを確めてください。

- テープカートリッジがセットされていることを確認してください（17ページ）。

1 **印刷** **になっていることを確認して、** 実行 **を押します。**

2 ◁▷**を押して、印刷する枚数を指定します。**
ここでは「1枚」にします。

- ◁を押すと数字が減り、▷を押すと数字が増えます。
- 数字を直接入力することもできます。一度に、100枚まで指定できます。
  0枚を指定することはできません。

3 ▽**を押します。**

4 ◁▷**を押して、カットモードを指定します。**
通常は「カットする」にします。

- ラベルごとに切り離すときは、「カットする」を指定します。
- 反射テープ・マグネットテープをセットしているときは、「カットしない」を指定します。

カットモードについて詳しくは、42ページをご覧ください。

5 実行 **を押します。**
印刷が始まります。

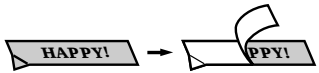
- 印刷を途中でやめるときは、取消し を押します。

重要
- 印刷中に、絶対に電源を切らないでください。
- 印刷中に、テープカートリッジ収納部のカバーを絶対に開けないでください。（10ページ）
- 印刷中に出てきたテープは、「自動的にカットされる」または「印刷が終了する」までさわらないでください。
- 印刷の途中でテープがなくならないように十分残量のあるテープカートリッジをご使用ください。印刷の途中でテープがなくなったときは、取消し を押して印刷を中止してください。
- テープ出口のまわりに、カットされたテープがたまらないようにしてください。カットされたテープがテープ出口をふさいでしまうと、テープがつまったり、故障の原因になります。

ラベルを貼る

1 **必要に応じて、ハサミなどで好きな大きさ・かたちにします。**

2 **ラベルの裏を剥がして、貼ります。**
ラベルの角を折り曲げると、剥がしやすくなります。



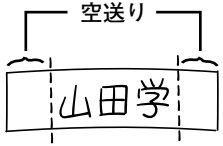
- 一度貼ったラベルを剥がすと、貼っていた場所にテープのノリが残ることがあります。

重要 次のようなものや場所にラベルを貼らないでください。
- 直射日光や雨があたるもの
- 人や動物のからだ
- 他人の家のへいや電柱など
- 公園・駅など、公共の場所
- 電子レンジで加熱に使う容器

ラベルが貼りにくいものは…
- 表面がざらざらしているところ
- 表面に水や油、ホコリなどがついているところ
- 特殊なプラスチック材料（シリコン系・PP材など）

テープを空送りする

印刷する前、した後に、テープを白紙で送ることができます（テープ送り）。



1 **機能** **9（テープ送り）** **と押します。**
↓
テープが約21.5mm送られます。

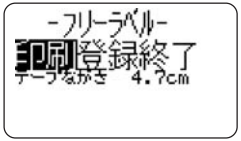
テープの余白を「送り無」にしたときは

テープの余白を「送り無」と設定したときは（44ページ）、印刷が終わっても自動的にテープはカットされません。次の手順に従って、テープをカットしてください。

1 **機能** **8（テープカット）** **と押して、テープをカットします。**

重要 テープをカットするときは、本機を傾けないでください。
また、テープを引っぱったり、カバーを開けたりしないでください。

終了する



1 上の画面が表示されているときに〈〉〉を押して**終了**にし、実行を2回押します。

- 「登録」については、45ページをご覧ください。

文字の入力について

■「営業」を入力します。

ローマ字入力、またはかな入力を選ぶことができます。
ここでは、ローマ字入力を選びます。(48ページ)

あアを何回か押して、画面左上に「Rかな」を表示させます。

E い I に G き Y ん O ら U な　変換を何回か押して、「営業」が画面に表示されたら実行

■「レポート」を入力します。

あアを何回か押して、画面左上に「Rカナ」を表示させます。

R す E い P せ O ら ¥ ? ー T か O ら

- 誤った文字を入力したときは、文字削除(56ページ)や後退(56ページ)を押して、文字を消してから、正しい文字を入力してください。
- **文字入力方法について、詳しくは「入力・編集編」(47ページ)をご覧ください。**

MEMO

ラベル作成編

ラベル作成の流れ

ラベルに印刷するときは、以下の手順で行います。

ACアダプターの接続
または乾電池のセット
13ページ
67ページ

↓

テープカートリッジの取り付け
17ページ

↓

自由に入力して作る
フリーラベル
22、32ページ
フリーラベルの編集機能
33ページ

用途に応じて作る
用途別ラベル
ナンバリング
28、30ページ

操作の流れ

1 ラベルの種類を選ぶ
フリーラベル 32ページ
用途別ラベル 28ページ
ナンバリング 30ページ

登録してあるデータを呼び出して使うときは（45ページ）

前回作成したデータを使うときは（16ページ）

↓

2 文字を入力する（48ページ）

↓

3 文字を修飾する
書体（フォント）を変える（59ページ）、文字を目立たせる（文字体）（61ページ）

↓

ラベルを印刷（22ページ）・登録（45ページ）・終了する

フォーマットを選んで作る(用途別ラベル)

本機には、豊富なラベルのフォーマットが内蔵されており、用途に応じたラベルが簡単に作れます。

※ここで紹介するラベルは、本機で作成できるラベルの一例です。

用途別ラベル

- ビデオラベル･オーディオラベル･名前ラベル･送付ラベル･ファイルラベル･値札ラベルがあります。用途に応じて選択してください。

[印刷例]

(9mm幅テープ/ファイル/ファイル背/小3)

重要 80ページをご覧になりフォーマットに適した幅のテープカートリッジをセットしてください。

フォーマットを選ぶ

1 (ON)を押して、電源を入れます。

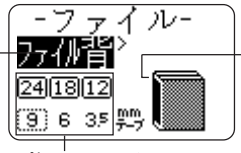
2 (∧)(∨)(＜)(＞)を押して「用途別ラベル」を選び、[実行]を押します。

3 ▲▼◀▶を押して作成するラベルの種類を選び、実行を押します。

ここでは「ファイル」を選びます。
フォーマット選択画面が表示されます。

フォーマット選択画面の見かた

ここでは、例として、「ファイル背」の画面を説明します。



ラベルの種類を示します。

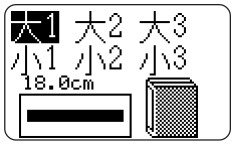
ラベルを貼る位置を示します。

対応するテープ幅を示します。

9 18 ・・・使用できるテープ幅は、実線または点線で囲まれます。
18 ・・・・・・・最も適したテープ幅は、実線で囲まれます。
6 ・・・・・・・・・使用できないテープ幅は、囲まれません。

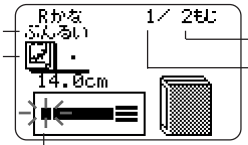
4 ◀▶を押して、「ファイル」ラベルの種類を選び、実行を押します。

ここでは「ファイル背」を選びます。



5 ▲▼◀▶を押してフォーマットを選び、実行を押します。

詳しくは「用途別ラベルフォーマット一覧」(80ページ)をご覧ください。
ここでは「小3」を選びます。
文字入力画面が表示されます。



項目名
あらかじめ入力されている絵文字が表示されます

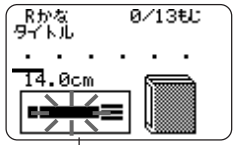
入力できる文字数

現在入力されている文字数

点滅しています
(この部分の入力ができるという意味です)

6 画面の絵文字を必要に応じて変更し、実行を押します。

- 選んだフォーマットの種類や項目によって、絵文字が入力されていたり、入力されていなかったりします。
- ほかの絵文字に変えるときは、55ページをご覧ください。



点滅の場所が変わります

7 文字を入力し、実行を押します。

ここでは「タイトル」「コメント1」「コメント2」「コメント3」に入力します。

- 枠がつけられるフォーマットの場合は、機能を押し指を離してから3を押し、枠付「あり／なし」のどちらかを選ぶことができます。

これでラベルデータが完成しました。

- ラベルデータを印刷するときは→22ページ
- ラベルデータを登録するときは→45ページ

印刷の書式を設定したい

文字の入力中に、お好みで印刷の書式を設定することができます。

- 印刷方向の「横書き／縦書き」を設定する
- 「裏書き」印刷の「する／しない」を設定する

上記の設定をするには、文字入力中に書式を押して、書式設定画面を表示させ、設定をします。

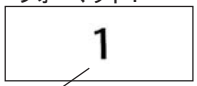
通し番号のついたラベルを作る(ナンバリング)

ページ番号や通し番号がついたラベルを作ることができます。

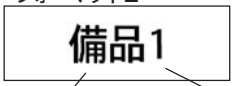
重要 3.5mm幅のテープカートリッジは使用できません。

ナンバリングの種類

- フォーマット1

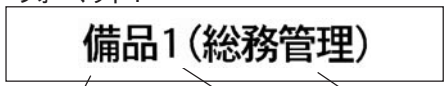


- フォーマット2



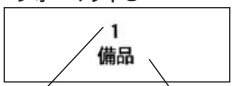
- フォーマット3

- フォーマット4



- フォーマット5

- フォーマット6



- 上の例は18mm幅テープで作成しました。

[印刷例]

備品No.15(総務管理)
備品No.16(総務管理)
備品No.17(総務管理)

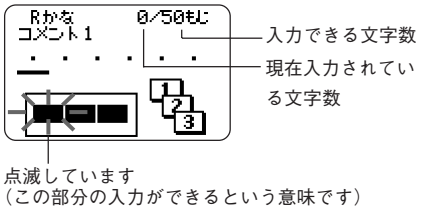
「備品No.15(総務管理)」～「備品No.17(総務管理)」のラベルを印刷します。

重要 ナンバリング印刷では、指定枚数分を連続して印刷します。印刷の途中でテープがなくならないように、十分残量のあるテープカートリッジをご使用ください。印刷の途中でテープがなくなってしまったときは、取消しを押して印刷を中止してください。

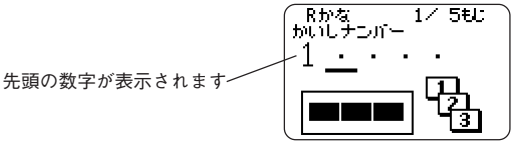
1 **ON を押して、電源を入れます。**

2 **△▽◁▷を押して「ナンバリング」を選び、実行を押します。**

3 **△▽◁▷を押してフォーマットを選び、実行を押します。**
ここでは「4」を選びます。



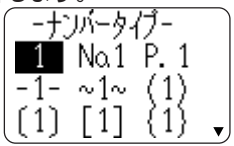
4 **「コメント1」の文字を入力し、実行を押します。**
ここでは「備品」と入力します。



5 **ナンバリングの先頭になる数字に変更し、実行を押します。**
ここでは、「No.15」～「No.17」のラベルを作るので、「15」を入力します。

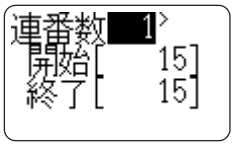
- 先頭になる数字を変更するときは、数字を削除して入力し直してください。5桁まで入力できます。

6 **「コメント2」の文字を入力し、実行を押します。**
ここでは「(総務管理)」と入力します。



7 **△▽◁▷を押してナンバリングの形を選び、実行を押します。**
ここでは「No.1」を選びます。

8 **◁▷で印刷を選び、実行を押します。**



9 ㊀㊁を押して連番として印刷する枚数を設定し、連番の開始と終了の番号を確認してから[実行]を押します。

ここでは、15、16、17番を印刷するので、「3」を設定します。

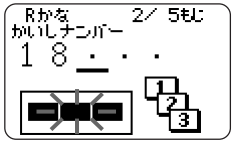
- 1～100までを入力できます。

10 ㊀㊁を押してカットモードを設定し、[実行]を押します。

- カットモードについて詳しくは、42ページをご覧ください。

印刷が開始されます。終了すると、右の画面が表示されます。

- ナンバー「９９９９９」の次は、「00000」が印刷されます。
- 「長さオーバー　印刷できません」「長さが短すぎてカットできません」と表示されたときは、73、74ページをご覧ください。



表示される番号は、作成するラベルによって異なります。

重要 ・テープ出口のまわりに、カットされたテープがたまらないようにしてください。カットされたテープが出口をふさいでしまうと、テープがつまったり、故障の原因になります。

・ラベルデータを登録するときは→45ページ

印刷の書式を設定したい

文字の入力中に、お好みで印刷の書式を設定することができます。

- 印刷方向の「横書き／縦書き」を設定する
- 「裏書き」印刷の「する／しない」を設定する
- 「余白」の設定をする

上記の設定をするには、文字入力中に[書式]を押して、書式設定画面を表示させ、設定をします。

自由に入力して作る(フリーラベル)

ここでは自由に入力してラベルを作る(フリーラベル)方法について説明します。

フリーラベルを作る

フリーラベルの作り方については、22ページを参照してください。

操作を簡単に説明しますと、以下のようになります。

❶ [ON]を押して、電源を入れます。

❷ ㊂㊃㊀㊁を押して「フリーラベル」を選び、[実行]を押します。

❸ 自由に文字を入力します。

2行以上のラベルを作る

2行以上の文章を含むラベルを作ることができます。
作れる行数は、セットしてあるテープの幅によって違います。

重要 3.5mm幅テープでは、2行以上のラベルは作れません。

テープの幅	最大行数
3.5mm	1行
6mm	2行
9mm	3行

テープの幅	最大行数
12mm	5行
18mm	6行
24mm	6行

- テープの幅と行数に合わせて、自動的に文字の大きさは変わります。**（ジャストフィット印刷）**
- 文字の大きさを自由に決めた場合（38ページ）も、文字の大きさは行数に合わせて自動的に変わります。

[印刷例]　顧客リスト
最新版　（18mm幅テープ）

1 **1行目を入力します。**
ここでは「顧客リスト」と入力します。

2 **↵を押します。**

3 **2行目を入力します。**
ここでは「最新版」と入力します。

文字の大きさが行数に合わせて自動的に変わります。

改行マークが入ります（画面だけの印なので印刷されません）

作っているラベルのレイアウト（イメージャー表示）線の数は行数を表わし、線の太さは文字の大きさをイメージであらわします。

- 文字を全部入力した後に、行を変えることもできます。行を変えたい位置で、↵を押します。
- 改行を取り消すときは、文字削除を押してマークを削除します。
  ※後退を押しても「↵」マークを削除することはできません。
- イメージャー表示は、微小フォントでの印刷のときは「5/6」というような表示になります。これは、「行数は6行で、カーソルが合っているのは5行目」という意味です。
  微小フォントでの印刷について→39ページ。
- セットされているテープ幅に合わない行数にすると、「行数オーバー印刷できません」と表示され、印刷することはできません。そのときは行数を減らしてください。
- ラベルデータを印刷するときは→22ページ
- ラベルデータを登録するときは→45ページ

こんなラベルを作るには？

顧客リスト最新版
営業部

↑

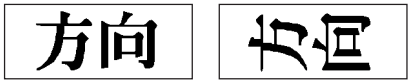
顧客リスト最新版↵
営業部

文字の大きさを決めます
（38ページ）

ラベルの書式を決める

ラベルの長さ・文字間隔・文字のバランスなど、ラベルをどのようなルール(書式)で作るのかを決めます。

■設定できる内容

方向	文字の向きを横書きにするか、縦書きにするかを決めます。 
文字割付	文字のバランスを決めます。➜37ページ参照
文字間隔	文字と文字のピッチ(間隔)を決めます。
裏書き	 • ハンカチやTシャツなどの布製品にアイロンプリントするときに設定します。布転写テープカートリッジ(別売)をご用意ください。 • ガラスなど透明なものに裏から貼るときに設定します。テープ色が透明なテープカートリッジ(別売)をご用意ください。
余白	ラベルの前後につくスペースの長さを選びます。➜35ページ参照
テープ長	ラベル全体の長さを自由に決めます。➜36ページ参照

■設定する(フリーラベルの場合)

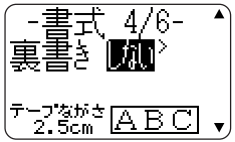
1 文章を入力します。

2 [書式]を押します。

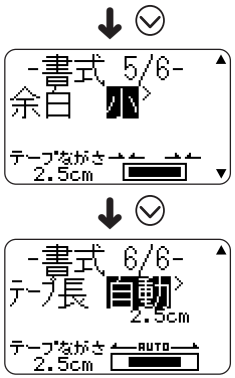
3 各項目を設定します。

- ^ v を押して設定項目を選びます。
- < > を押して希望の項目を表示させます。

設定項目	内　容
方向	文字を縦書きにするか横書きにするかを選ぶ
文字割付	文字のバランス(左寄せ/均等/中寄せ/右寄せ)を設定する ➜37ページ参照
文字間隔	文字と文字の間隔(0.0～31.9㎜)を指定する (< >を押すと間隔が変わり、それに合わせてテープ長さの数値も変わる) ※「文字割付」を「均等」、「テープ長」を「こてい」とした場合は、文字間隔の指定はできません。
裏書き	文字を裏書きで印刷するかしないかを選ぶ。裏書きにしないときは「しない」を選ぶ



余白	ラベルの前後につくスペースの長さを選ぶ
テープ長	・自動:文字数に合わせて自動的にラベルの長さを調節する ・ラベル全体の長さを任意に設定するときは、〈〉を押して「固定」を選ぶ➔36ページ



4 各項目を設定したら、実行を押します。

■設定する(用途別ラベル、ナンバリングの場合)

1 文章を入力します。

2 書式を押します。

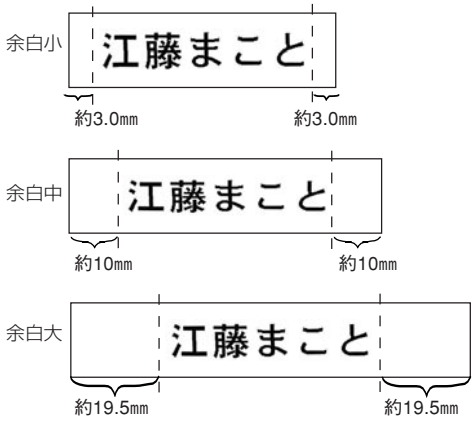
3 〈または〉で、「方向」「裏書き」または「余白」を選び、実行を押します。

- 用途別ラベルでは「余白」を選ぶことはできません。

4 〈または〉で、お好みの項目を選び実行を押します。

余白について

ラベルの前後につくスペースを**余白**といいます。
次の3種類の余白を選べます。



重要 テープの長さが短い(余白小のとき:約22mm、余白中のとき:約29mm、)場合には、余白カットをしないことがあります。印刷が終わった後で、ハサミなどで余白をカットしてください。

- 「送り無」と設定し、連続して印刷すると、ラベルとラベルを密着させて印刷することができます。
- 「送り無」と設定したときは、テープは自動的にはカットされません。テープをカットするときは、機能を押し、指を離してから8(テープカット)を押してください。先頭のラベル余白は、ハサミなどでカットしてください。

ラベルの長さを自由に決める

ラベルは文字の大きさや文字数に合わせて最適な長さで印刷されます。
ここではラベルの長さを自由に設定する方法を説明します。

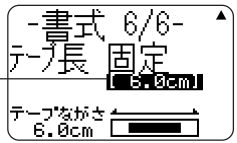
ラベル全体の長さを自由に設定する(テープ長固定)

1 文字を入力します。

2 書式を押します。

3 ▲▼を押して、「テープ長」を画面に表示させます。

4 ◀▶を押して、「テープ長　固定」にし▼を押します。



数値が反転します

5 数値キーまたは◀(減)・▶(増)を押して、ラベルの長さを設定します。

• テープ長さと入力されている文字により、次のようになります。

[6.0cm]
↑
指定通りに印刷

営業部

(4.0cm]
↑
文字を横方向に縮めて指定通りに印刷

営業部

2.0cm]
↑
指定した長さより長く印刷

営業部

* 文字が印刷方向に50%縮小されて印刷されます。また、印刷されたテープは指定より長くなります。

6 実行を押します。

文章のバランスを整える(割付)

文字や文章のバランスを整えることができます。

左寄せ	江藤まこと
均等	江　藤　ま　こ　と
中寄せ	江藤まこと
右寄せ	江藤まこと

1 文字を入力します。

2 書式を押します。

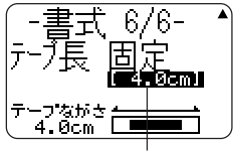
3 ^v を押して、「もじ割付」の設定画面にします。

4 <> を押して、希望の割付の種類を表示させます。

<> を押すたびに、均等 中寄せ 右寄せ 左寄せ と割付の種類が変わります。

5 ^v を押して、「テープ長」を画面に表示させます。

6 <> を押して、「テープ長　固定」にし、v を押します。



数値が反転します

7 数値キー、または <(減)・>(増)を押して、希望の数字(ラベルの長さ)にし、実行を押します。

元の長さより長い数値にします。

2行以上の文章のときは、「テープ長　自動」を選んでも、割り付けすることができます。そのときは次のように文字数の少ない方が割付の対象になります。

左寄せ	中寄せ	右寄せ	均等
下期 販促資料①	下期 販促資料①	下期 販促資料①	下　期 販促資料①

文字の大きさを決める

ラベルを作ると、最適な文字サイズで印刷されます。これは、セットされているテープの幅と文章の行数に合わせて、最適な文字サイズを自動的に設定しているためです(**ジャストフィット印刷**)。
ここではジャストフィット印刷ではなく、自由に文字の大きさを決める方法を説明します。

文字単位で大きさを決める

文字単位で「1×1」～「4×4」倍まで自由に文字サイズを選択できます。テープの幅によって、印刷できる文字サイズの最大値(縦方向)は異なります(テープ幅と行数・倍率一覧 83ページ)。

1×1

禁煙

2×3

禁煙

4×4

禁煙

- 縦書きと横書きとでは、印刷結果が異なる場合があります。たとえば、1×2と指定すると、横書きでは横長に、縦書きでは縦長に印刷されます(上の印刷例はすべて横書きで作成しています)。

1×2(横書き)

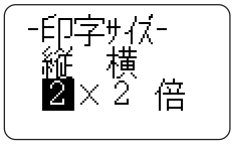
終日禁煙

1×2(縦書き)

[例]　「終日禁煙」の「終日」を1×3にする

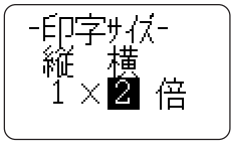
1 文字を入力します。

2 機能 を押し、指を離してから 印字サイズ 1あ を押します。

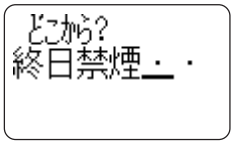


3 ∧∨を押して、「縦」の倍率を設定します。
ここでは縦倍率を「1」にします。
- 直接数字を入力することもできます。
- 不適当な倍率を入力しようとしても入力できません。

4 ＞を押して、「横」の倍率数値を反転させます。
- 数字を入力したときは、自動的に「横」の倍率数値が反転します。

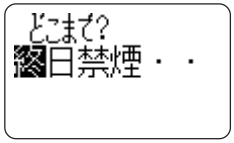


5 ∧∨を押して「横」の倍率を設定し、 実行 を押します。
ここでは横倍率を「3」にします。



6 **◁▷を押して大きさを変える最初の文字にカーソルを合わせ、実行を押します。**

ここでは「終」を指定します。

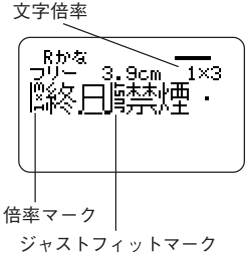


7 **◁▷を押して大きさを変える最後の文字を選び、実行を押します。**

ここでは 終日 にします。

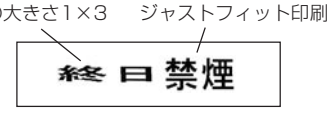
文字倍率：　カーソルが合っている文字の大きさをあらわします。
倍率マーク：印刷される文字の大きさをあらわします。

ジャストフィットマーク：
自動的につきます。このマークよりうしろの文字はジャストフィット印刷に従った大きさで印刷されます。



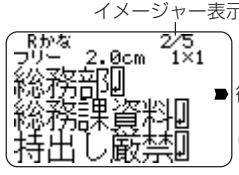
- 倍率マークやジャストフィットマークは画面だけの印ですので、印刷されません。
- 文字サイズの指定を取り消すときは、倍率マークを文字削除で削除します。

※倍率マークを削除した場合、文字サイズはテープ幅や入力文字の行数に合わせて自動設定されます。
ただし、削除した倍率マークよりも左側に倍率の指定があるときは、その倍率になります。



微小フォントについて

- ●行数(入力した行数または選んだフォーマットの行数)と、テープ幅によって、「微小フォント」となります(61ページ)。
- ●このとき、画面右の「■ 微小フォント」が点灯します。
- ●フリーラベルでは、分数でイメージャー表示されます。



(18mmテープの場合)

- イメージャー表示については、「2行以上のラベルを作る」の手順**3**(33ページ)をご覧ください。

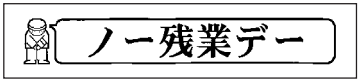
- ●微小フォントには、次のような特徴があります。
  - フォントの設定は、無効です(すべて同じフォントで印刷されます)。
  - 文字体または文字修飾を設定すると、きれいに印刷できないことがあります。
  - 絵文字は、きれいに印刷できないことがあります。

フレームをつける

フリーラベルの文章にいろいろなフレームをつけることができます。
フレームの一覧は79ページをご覧ください。

重要 3.5mm幅テープにフレームをつけることはできません。

[印刷例]



（18mm幅テープ／フレーム番号＝52）

1 文字を入力します。

2 フレーム印刷を押します。

3 ∧ ∨ 〈 〉を押して使うフレームを選び、実行を押します。
ここでは[ ]を選びます。

4 〈 〉で **印刷** を選び、実行を押します。

5 数字キー(または〈 〉)を押して印刷枚数を設定し実行を押します。
印刷が開始されます。
1～100枚まで設定できます。
- 実行を押す前に∨を押すとカットモードが指定できます(42ページ)。〈 〉を押して指定します。
- 「文字修飾」の指定は無効になります。

重要 印刷するときは、42ページの注意事項をご覧ください。

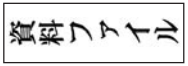
フレーム印刷できる行数
テープ幅によって、フレーム印刷できる行数は異なります。

	24/18mm幅	12mm幅	9mm幅	6mm幅
フレーム印刷できる行数	4行以内	3行以内	2行以内	1行

縦書きのラベルを作る

フリーラベルの入力中、または入力後の確認画面（45ページの最初の画面）表示中に縦書印刷を押すだけで、簡単に縦書きのラベルを印刷することができます。また、縦書きと横書きのラベルを一度に印刷することもできます。

縦書印刷



縦横同時印刷

縦書き（1枚目）、横書き（2枚目）がセットで印刷されます。

- フリーラベル以外では、縦書印刷や機能 縦横同時印刷 縦書印刷は無効となります。フリーラベル以外で縦書きのラベルを作成するときは、書式設定画面（34ページ）で「縦書き」を設定してください。

1 **文字を入力します。**

2 **縦書印刷を押します。**
縦書きと横書きのラベルを一度に印刷するときは、機能を押し、指を離してから 縦横同時印刷 縦書印刷 を押します。

3 **数字キー（または◁▷）を押して印刷枚数を設定し、実行を押します。**
印刷が開始されます。
1～100枚まで設定できます。

- 実行を押す前に▽を押すとカットモードが指定できます（42ページ）。◁▷を押して指定します。

印刷するときは、42ページの注意事項をご覧ください。

印刷とカットモード

印刷するときには以下の点に注意してください。
- 24ページ「ラベルを貼る」、「テープを空送りする」、「テープの余白を「送り無」にしたときは」をご参照の上、操作してください。

重要
- 印刷中に、絶対に電源を切らないでください。
- 印刷中に、テープカートリッジ収納部のカバーを絶対に開けないでください。（10ページ）
- 印刷中に出てきたテープは、「自動的にカットされる」または「印刷が終了する」までさわらないでください。
- 印刷の途中でテープがなくならないように十分残量のあるテープカートリッジをご使用ください。印刷の途中でテープがなくなったときは、取消しを押して印刷を中止してください。
- テープ出口のまわりに、カットされたテープがたまらないようにしてください。カットされたテープがテープ出口をふさいでしまうと、テープがつまったり、故障の原因になります。
- 1度に印刷されるラベルの長さが極端に長い場合は、印刷できません。ラベルの長さを短くする、または、印刷枚数を減らして、印刷し直してください。

カットモードについて

複数枚のラベルを印刷するときは、ラベルとラベルの間を自動的に切り離すか切り離さないか選ぶことができます。また、テープによっては、本機のカッターでカットするとカッター部が摩耗し、故障の原因となることがありますので、注意してください。

※下記のテープは特殊なテープです。必ず下表を確認し、「カットしない」に設定して使用してください。

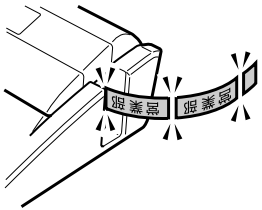
•マグネットテープ •反射テープ	**カットしない**

■2つのカットモード

カットモードには2つあります。
- カットモードは、「印刷する」の手順**4**（23ページ）で設定します。
- 余白の設定によって、カットのしかたと余白部分の長さは異なります。詳しくは「カットのしかたと余白について」（44ページ）をご覧ください。
- 書式で「余白　送り無」に設定したときは、どちらのカットモードを選択しても、カットはされません。（24ページ）
- テープの長さが「余白小のときは、約22mm以下」、「余白中のときは、約29mm以下」の場合は、自動的にはカットされないことがあります。印刷終了後、ハサミなどでカットしてください。

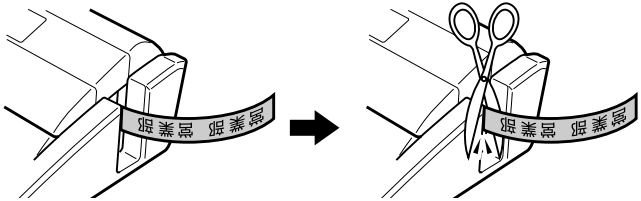
●カットする

- ラベルごとにカットします。
  ※2枚以上印刷するときは、カットされたラベルがテープ出口をふさがないようにご注意ください。テープ出口をふさいでしまうと、テープづまりや故障の原因となります。
- 「余白　小」「余白　中」を設定してあるときは、印刷中に、余分なテープが自動的にフルカットされます。



●カットしない

- ラベル間はカットしません。
- マグネット・反射テープに印刷するときは、必ず「カットしない」に設定してください。
- 印刷終了後、 機能 を押し、指を離してから 9 (テープ送り) を押してテープ送りをしたあと、ハサミなどでラベルをカットしてください。



反射テープとマグネットテープについて

反射テープとマグネットテープは特殊な処理をしてあるテープです。カットするときは、下記の手順にしたがってハサミなどをお使いください。

なお、本機で反射テープやマグネットテープをカットすると、カッター部分の寿命が短くなることがあります。ご注意ください。

1 書式で、余白を「送り無」にする（35ページ）
　またはカットモードで「カットしない」にする
2 印刷する
3 機能 9 (テープ送り) と押して、テープ送りをする
4 反射テープまたはマグネットテープを取り出し、ハサミなどを使ってカットする
　※ご使用後は、必ず本機から取り出して保管してください。

カットのしかたと余白について

カットモードと余白の設定によって、カットのしかたと余白の長さは異なります。

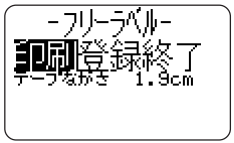
カットモード		カットする		カットしない	
カットのタイミング ＼ 余白		先頭の余分な部分のカット	1枚終了ごとのラベルのカット	先頭の余分な部分のカット	1枚終了ごとのラベルのカット
余白小	カット	フルカット	フルカット	無し	無し
	余白	21.5㎜	3㎜	21.5㎜	3㎜
余白中	カット	フルカット	フルカット	無し	無し
	余白	21.5㎜	10㎜	21.5㎜	10㎜
余白大	カット	無し	フルカット	無し	無し
	余白	–	19.5㎜	–	19.5㎜
送り無	カット	無し	無し	無し	無し
	余白	–	–	–	–

作成したデータを登録する・呼び出す

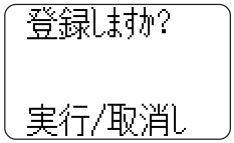
作成したデータをメモリーに記憶させておくことができます。記憶させることを**登録**といいます。
登録しておけば、いつでも呼び出して印刷したり、また内容を修正して違うデータを作ることができます。

データを登録する

文字の入力が終わるとこの画面になります。



1 ◁▷**を押して**登録**を選び、**実行**を押します。**



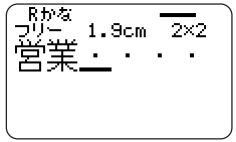
2 **実行を押します。**
「登録完了」と表示され、最初の画面に戻ります。

重要 登録データは1件のみです。上書きで登録されます。
すでに登録データがある場合には、新たに登録することで前の登録データは失われます。

登録したデータを呼び出す

登録したデータは、メインメニュー(28ページの1の画面)から呼び出します。

1 △▽◁▷**を押して「登録データ」を選び、**実行**を押します。**



データが呼び出されます。
必要に応じて、修正・印刷してください。

MEMO

入力・編集編

文字の入力や編集についての基本的な説明をします。また、文字修飾の指定についても説明しています。

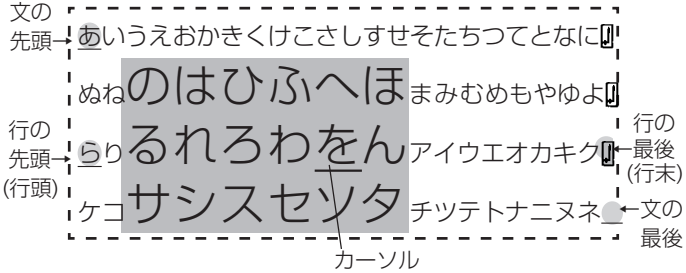
カーソルのはたらきと動かしかた

画面上で点滅している▁を**カーソル**といいます。
カーソルとは、文字を入れる位置を示した目印のことです。

文字キーを押すと、カーソルの位置に文字が入ります。

■カーソルの動かしかた

カーソルは〈上〉〈下〉〈左〉〈右〉を押して動かします。



〈左〉	左にカーソルが移動する	〈右〉	右にカーソルが移動する
〈上〉	上にカーソルが移動する	〈下〉	下にカーソルが移動する
機能 を押し、指を離してから 〈左〉(行頭) を押す	行の先頭にカーソルが移動する	機能 を押し、指を離してから 〈右〉(行末) を押す	行の最後にカーソルが移動する
機能 を押し、指を離してから 〈上〉 を押す	文の先頭にカーソルが移動する※	機能 を押し、指を離してから 〈下〉 を押す	文の最後にカーソルが移動する※

※フリーラベル以外では無効です。

スクロールとは
画面にかくれている文字を見るためには、〈左〉〈右〉を押して、かくれている部分にカーソルを動かします。これを**スクロール**といいます。
(〈左〉〈右〉を押した方向に文字がないときは、カーソルは動きません。)

ローマ字入力？それともかな入力？

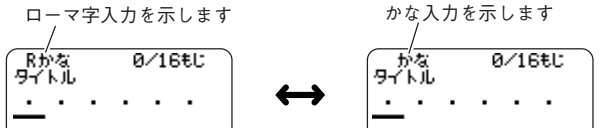
キーを押して文字を画面にあらわすことを、**入力**といいます。
文字を入力する方法には、ローマ字入力とかな入力があります。

- **ローマ字入力とは…**
  アルファベットを使ったローマ字よみでひらがななどを入力する方法です。
- **かな入力とは…**
  直接ひらがなどを入力する方法です。

購入後はじめて使うときや、メモリーの初期化をした後では、ローマ字入力の状態になっています。

ローマ字入力とかな入力を切り換える

機能を押し、指を離してから あア（ローマ字/かな）を押す



- 「ab」「AB」が画面左上に表示されているときは、まず あア（ローマ字/かな）を押して、「Rかな」または「かな」を表示させます。

「設定」で切り換えるには

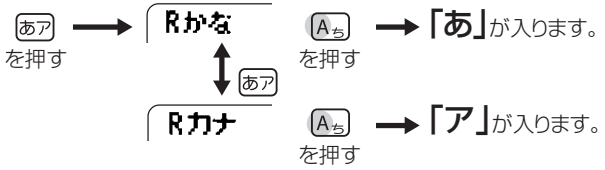
1 設定を押します。
2 ▲▼を押して「入力設定」を選び、実行を押します。
3 ▲▼◀▶を押して「かな」または「ローマ字」を選び、実行を押します。

入力する文字の切り替え方法

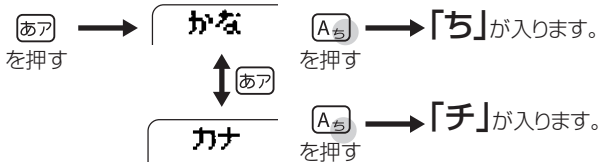
文字キーは、1つで数種類の文字が入力できるようになっています。あアやaAを押して、ひらがな・カタカナ・アルファベット・記号が入力できるように、切り換えます。
ここではAちを例にとって、説明します。

ひらがな・カタカナの入力

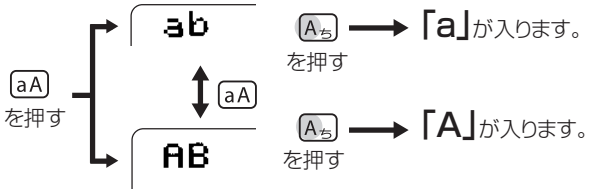
■ローマ字入力の場合



■かな入力の場合



アルファベット(大文字・小文字)の入力



ひらがな・カタカナの入力

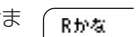
ここではローマ字入力で説明します。

ひらがなの入力

［例］ さくら

1 あア を何回か押して、画面左上に「Rかな」を表示させます。

- かな入力のときは、「かな」を表示させます。(48ページ)



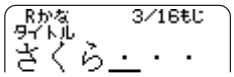
2 Sと Aち Kの Uな Rす Aち と押します。

- かな入力のときは、Xさ Hく Oら と押します。

ひらがなを入力している最中は、
■が文字に重なっています

3 無変換 または 実行 を押します。

「さくら」が確定します。



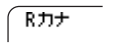
- 「無変換」とは、漢字に変換しないでひらがなのまま確定するという意味です。

カタカナの入力

［例］ サクラ

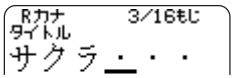
1 あア を何回か押して、画面左上に「Rカナ」を表示させます。

- かな入力のときは、「カナ」を表示させます。(48ページ)



2 Sと Aち Kの Uな Rす Aち と押します。

- かな入力のときは、Xさ Hく Oら と押します。



カタカナを入力すると、そのまま確定されます。

ひらがなで文字を入力して、カタカナに変換する(カタカナ変換)

例 サクラ

①ひらがなで「さくら」と入力します。

②さくらとなっているときに、機能 を押し、指を離してから 無変換 を押します。

カタカナ変換

さくらが「サクラ」に確定されます。

いろいろな文字の入力方法

	例	ローマ字入力	かな入力
促音	いった	I に T か T か A ち	E い シフト Z っ Q た*
拗音	きょう	K の Y ん O ら U な	G ぎ シフト 9 ょ 4 $ う*
濁音	ぼく	B こ O ら K の U な	- ほ @ ゛ H く
半濁音	ぱぱ	P せ A ち P せ A ち	F は [゜ F は [゜
句点	。	. る	シフト . る
読点	、	, ね	シフト , ね
長音	ー	¥ ?	¥ ?
中点	・	シフト / め	シフト / め
を		W て O ら	シフト 0 を わ
ん		N み N み	Y ん
ヴ		「Rカナ」表示のときに V ひ U な	「カナ」表示のときに 4 $ う @ ゛
カ		X さ K の A ち または K の シフト A ち	シフト T か
ケ		X さ K の E い または K の シフト E い	シフト : * け
空　白		空白	空白

＊シフトを押し、指を離してから文字キーを押すと小文字(促音・拗音)になりますが、「つゃゆょぁぃぅ」など促音・拗音にすることができる文字に限ります。

- ローマ字よみの詳細については、「ローマ字入力一覧」(74ページ)をご覧ください。
- ,(カンマ) .(ピリオド)の入力方法については、53ページをご覧ください。

漢字の入力

漢字を入力するには、まずその漢字の「よみ」をひらがなで入力します(例：「花」→「はな」)。
ひらがなから漢字に変えることを**変換**といいます。使いたい漢字が表示されたら、実行を押して、ほかの文字に変わらないように**確定**します。

ひらがなから漢字に変換する方法は、次のとおりです。

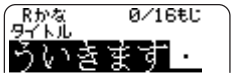
- **文章を入力してから変換する**
- **同音異義語を変換する**(例：公園、後援など)
- **漢字１文字分ずつ変換する**(当て字やむずかしい固有名詞などの変換)

文章を入力してから変換する

文章を入力してから、まとめて漢字に変換します。
まとめて変換できる文字数は、32文字までです。

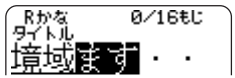
[例]　今日行きます

1 **「きょういきます」をひらがなで入力します。**



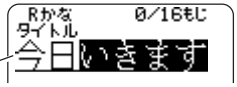
2 変換**を押します。**

「きょういき」と「ます」という2つの言葉と認識されたため、「境域」と変換されます。



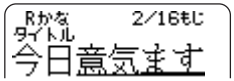
「境域」に下線がついています

3 ＜を2回押します。
「きょういき」を「きょう」という言葉に区切るためです。

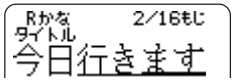


4 実行を押します。
「今日」が確定されます。
「いき」と「ます」という2つの言葉が残ったと認識されたため、「いき」が「意気」に変換されます

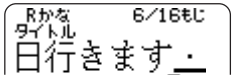
5 ＞を2回押します。
「いき・ます」を「いきます」という言葉にするためです。



6 変換を何回か押して、「行きます」にします。
変換を押すたびに、「いきます」に当てはまる言葉が次々と表示されます。



7 「行きます」が表示されたら、実行を押します。
「行きます」が確定されます。



カーソルと下線の違い
カーソルは、文字が入る位置を示した目印で、点滅して画面に表示されます。ひらがなを漢字に変えるときにつく下線は、「現在、変換することができる部分」を示した印です。

- 下線がついているときに取消しを押すと、「よみ」の状態に戻ります。

例 きょう → 今日（変換） → きょう（取消し）

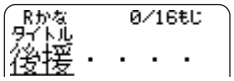
「よみ」を入れて変換を押しても目的の漢字に変換できないときは、単漢字変換を試してみましょう。（52ページ）

同音異義語を変換する

複数の漢字が当てはまる「よみ」（同音異義語）を変換する方法を説明します。

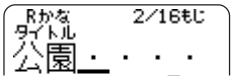
［例］ 公園

1 「こうえん」と入力し、変換を押します。
「こうえん」に合った漢字の候補が表示されます。

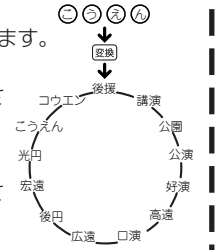


2 変換を何回か押して、「公園」にします。
変換を押すたびに、「こうえん」に当てはまる言葉が次々と表示されます。

3 「公園」になったら、実行を押します。
「公園」が確定されます。



変換のルール
まず変換を押して、ひらがなを漢字に変換します。
変換または∨を押すと、次の漢字が表示されます。
機能を押し、指を離してから変換（前候補）を押す、または∧を押すと、1つ前の漢字が表示されます（前候補）。

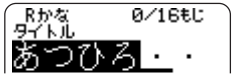


漢字１文字ずつ変換する（単漢字変換）

当て字やむずかしい固有名詞などを変換するときは、1字ずつ目的の漢字に変換します。

［例］ 敦廣（あつひろ）

1 「あつひろ」をひらがなで入力します。



2 変換 を何回か押します。
何回押しても、「敦廣」に変換されません

3 単漢字 を押します。

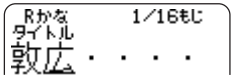
- もう一度 単漢字 を押すと、「あ」に当てはまる漢字が表示されます。もう一度 単漢字 を押すと、「あつ」に当てはまる漢字が表示されます。

「あつ」に合った漢字がいくつか表示されます

4 ^ v < > を押して、敦 にします。

5 実行 を押します。

「敦」が確定されます。



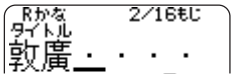
「広」に下線がつきます

6 変換 を何回か押して、「廣」にします。

- 単漢字 を押して「廣」を探すこともできます。

7 「廣」になっていることを確かめて、実行 を押します。

「廣」が確定されます。



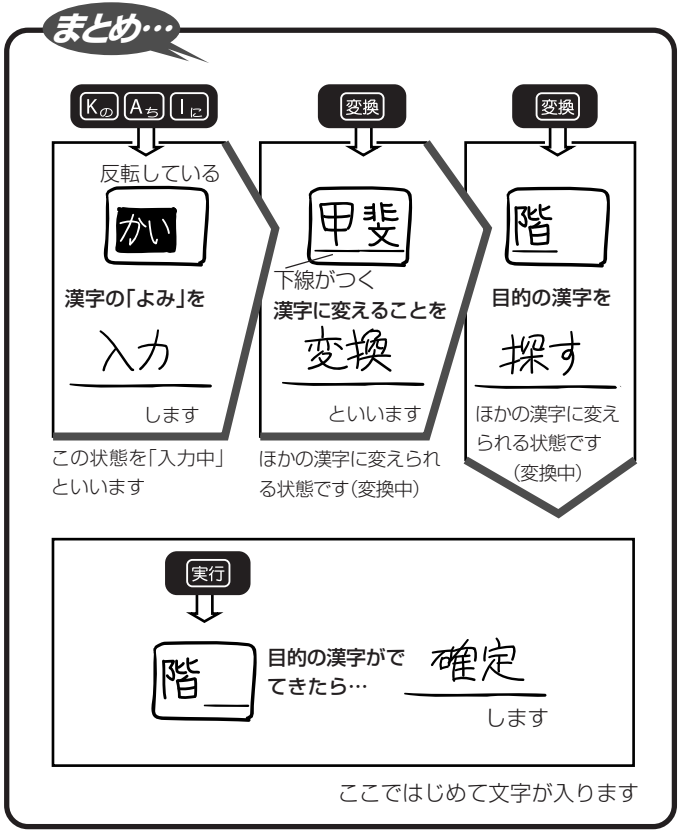
思いどおりの漢字に変換されないのはなぜ？

次のようなことが考えられます。

- 「週（しゅう）」を「しゆう」と入力している
- 「図（ず）」を「づ」と入力している
- 「通り（とおり）」を「とうり」と入力している
- 「社食（しゃしょく）」「道交法（どうこうほう）」など、略語の読みを入力している

次の文字の入力には、特に注意してください。

- 「ぁ」「ぃ」「ぅ」「ぇ」「ぉ」「ゃ」「ゅ」「ょ」の拗音
- 「っ」の促音
- 「ず」と「づ」
- 「じ」と「ぢ」
- 「お」と「う」



アルファベットや数字の入力

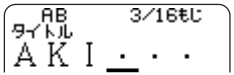
アルファベット、数字の入れかたを説明します。

アルファベット(大文字)の入力

［例］ ＡＫＩ

1 aA を何回か押して、画面の左上に「ＡＢ」を表示させます。

2 Aち Kの Iに と押します。
アルファベットは、キーを押したと同時に、その文字に確定されます。



- **カンマ(，) ピリオド(．)を入力するには**
  画面の左上に「ＡＢ」または「ａｂ」と表示されているときに、次のキーを押します。
  カンマ： 〈ねん **ピリオド：** 。ぬる
- **大文字と小文字が混ざった文章を簡単に入力するには**
  「ＡＢ」表示のとき ･･･ シフト を押し、指を離してから文字キーを押すと、その文字だけ小文字になります
  例 TAKESHI's
  「ａｂ」表示のとき ･･･ シフト を押し、指を離してから文字キーを押すと、その文字だけ大文字になります。
  例 English
- ひらがなを入力するときは、あア を何回か押して、画面の左上に「Ｒかな」(または「かな」)を表示させます。

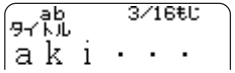
アルファベット(小文字)の入力

［例］ａｋｉ

1 aA を何回か押して、画面の左上に「ａｂ」を表示させます。

2 A ち K の I に と押します。

アルファベットは、キーを押したと同時に、その文字に確定されます。



数字の入力

［例］ １２３

■ローマ字入力のとき

1 1 ぬ 2 ふ 3 あ と押します。

数字は、ひらがな・カタカナ・アルファベットなど、どの入力中でも使えます。

■かな入力のとき

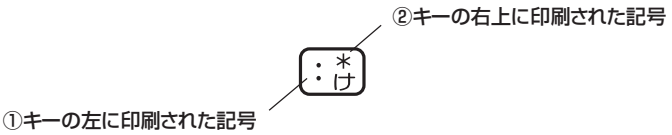
1 aA を押して、画面の左上に「ａｂ」または「ＡＢ」を表示させます。

2 1 ぬ 2 ふ 3 あ と押します。

記号の入力

ふつうの文字のほかに、いろいろな記号を入れることができます。

キーに印刷されている記号

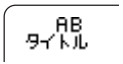


■ローマ字入力の場合

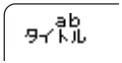
① ：＊ け を押すと ⟶ 「：」が入ります。

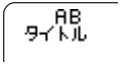
② シフト を押し、指を離してから ：＊ け を押すと ⟶ 「＊」が入ります。

■かな入力の場合

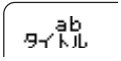
① aA ⟶  ：＊ け を押すと ⟶ 「：」が入ります。

または



② aA ⟶  シフト を押し、指を離してから ：＊ け を押すと ⟶ 「＊」が入ります。

または



その他の記号

㍍ ♂ ㊟ ☜ ⑫ など

記号は「記述・カッコ」「学術」「単位・略」「一般」「数字」「ギリシア・ロシア」の6つのグループに分かれています。76～77ページの記号一覧を見ながら、使いたい記号がどのグループに入っているのかを確かめてください。

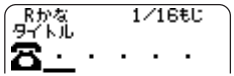
[例] ☎ （グループ＝単位･略）

1 機能 を押し、指を離してから 5 記号 を押します。

記号のグループ名

2 ^ v < > を押して**単位**にし、実行 を押します。

3 ^ v < > を押して☎にし、実行 を押します。



絵文字の入力

内蔵の絵文字を使うことができます。絵文字は20のグループに分かれています。
77～78ページの絵文字一覧を見ながら、使いたい絵文字がどのグループに入っているのかを確かめてください。
また、文字体の指定は無効です。

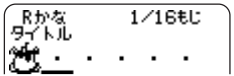
[例] （グループ＝食べ物）

1 機能 を押し、指を離してから 6 絵文字 を押します。

絵文字のグループ名

2 ^ v < > を押して**食べ物**にし、実行 を押します。

3 ^ v < > を押してにし、実行 を押します。



文字を修正・削除するときは

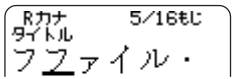
文字を間違えて入力したときの直しかたと、入力してあるすべての文字を削除する方法を説明します。
フリーラベルでは、範囲を指定して削除することもできます。

間違った文字を消す

■文字を1文字ずつ消す（カーソルの上の文字を消す）

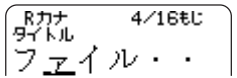
［例］「フファイル」の「フ」を消して、「ファイル」に直す

1 ◁▷を何回か押して、「フ」にカーソルを合わせます。



2 文字削除を押します。

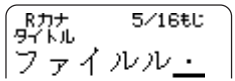
「ファイル」になります。



■文字を1文字ずつ消す（カーソルの前の文字を消す）

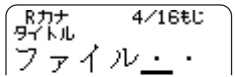
［例］「ファイルル」の最後の「ル」を消して、「ファイル」に直す

1 消したい文字の次の文字にカーソルを合わせます。



2 後退を押します。

「ファイル」になります。



確定前に文字を消すには…

ふふぁいるなど、文字に［　　］が重なっているとき（確定前）に文字を消すときも、文字削除または後退を押して消します。
また、取消しを押すと、［　　］が重なっている文字がぜんぶ消えます。

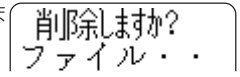
確定➔53ページ

すべての文字を消す（文削除）

入力中の項目の文章をすべて消します。

1 機能 **を押し、指を離してから** 文削除 文字削除 **を押します。**

- 文削除をやめるときは、取消し を押します。
- フリーラベルでは「全文削除」と「部分削除」の選択画面が表示されますので、ここで「全文削除」を選んで 実行 を押します。



2 実行 **を押します。**

- 画面にあった文字はすべて消えます

■範囲を決めて消す（フリーラベルのみ）

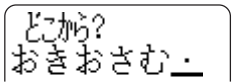
消したい部分のはじめと終わりを指定して消す方法です。

［例］　「あおきおさむ」を「おさむ」にする

1 機能 **を押し、指を離してから** 文削除 文字削除 **を押します。**

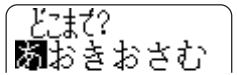
2 ∧∨ **を押して** 部分削除 **を選び、** 実行 **を押します。**

操作をやめるときは 取消し を押します。



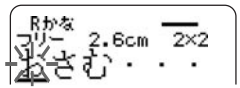
3 ＜＞ **を押して消したい部分の最初の文字にカーソルを合わせ、** 実行 **を押します。**

ここでは「あ」にカーソルを合わせます。



4 ＜＞ **を押して消したい部分の最後の文字を指定し、** 実行 **を押します。**

ここでは あおき にします。

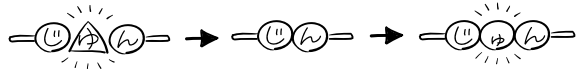


間違った文字を直す

間違った文字を直す方法は、文字の入力方法が「挿入」状態になっているか、「上書き」状態になっているかで違ってきます。

挿　入

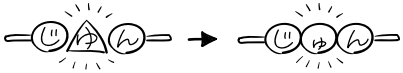
文字と文字の間に新しい文字を追加して入力することができます。



間違った文字を消してから正しい文字を入力します（その逆でも可）。

上書き

画面に表示されている文字を新しい文字に入れ替えることができます。



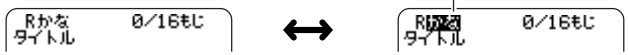
間違った文字の上に正しい文字を入力します。

■「上書き」にするとき

シフトを押し、指を離してからあアを押します。

<挿　入>　　<上書き>

反転します

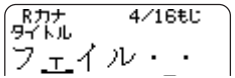


もう一度シフトを押し、指を離してからあアを押すと、「挿入」状態に戻ります。

［例］「フェイル」を「ファイル」に直す

■間違った文字を消して正しい文字を入力する（「挿入」状態）

1 ◁▷を押して「ェ」にカーソルを合わせます。

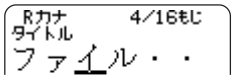


2 文字削除を押します。

「ェ」が削除され、「イ」が「ェ」の位置に移動します。

3 「ァ」を入力します。

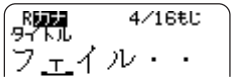
・「ァ」はシフトを押し、指を離してからA ちを押して入力します。



「ァ」が「イ」の前に入力されます

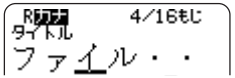
■間違った文字の上に正しい文字を入力する（「上書き」状態）

1 ◁▷を押して「ェ」にカーソルを合わせます。



2 「ァ」を入力します。

「ェ」が「ァ」になります



「設定」で切り換えるには

1　設定を押します。

2　△▽を押して「入力設定」を選び、実行を押します。

3　◁▷を押して「上書き」または「挿入」を選び、実行を押します。

文字を入れるときは

「上書き」のときは、入力済みの文字が消されて新たな文字に入れ替わります。間違って必要な文字を入れ替えることのないように、文字を入力するときは「挿入」にすることをおすすめします。

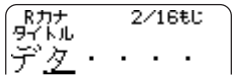
文字が抜けていたら…

「挿入」状態のときには、文字を追加することができます。(57ページ)

[例]　「デタ」を「データ」にする

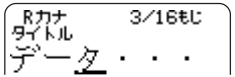
1　〈〉を押して、「タ」にカーソルを合わせます。

「タ」の前に文字を入力するためです。



2　「ー」(長音)を入力します。

「タ」の前に「ー」が入り、「データ」になります



確定前に文字を直したり追加するには…

ふぇいるなど、文字に　　が重なっているとき(確定前)に文字を直したり追加するときも上と同じ操作で直します。

確定➡53ページ

「上書き」で文字を直すときは

直す文字数に注意してください。直す文字数よりも多く入力してしまうと、必要な文字まで新しい文字に入れ替わってしまいます。

書体(フォント)を変える

入力済みの文字の形(書体)を、和文2書体・欧文4書体の中から選ぶことができます。
また電源を入れたときの書体を決める設定方法についても説明しています。

■和文書体

明朝体	ゴシック体
亜あ	亜あ

■欧文書体

明朝体	ゴシック体
AB12	AB12
ステンシル	ポップ
AB12	AB12

- メモリーリセット後は、「和文：明朝体」「欧文：明朝体」に設定されています。

・欧文書体は、次の文字が指定の対象になります。
・アルファベット(A～Z　a～z)
・数字(１２３４５６７８９０)
・記号の一部(，．？！ー～(　)¥%スペース)

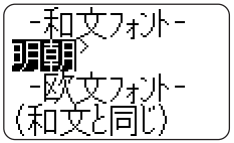
入力済みの文字の書体を変える

ヒーリングMUSIC集

［例］（「ヒーリング」「集」をゴシック体に、「MUSIC」をステンシルにする）

1 文字を入力します。

2 フォント を押します。



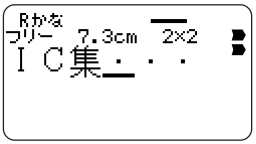
3 ◁▷を押して**ゴシック**を選び、▽を押します。

（和文の書体の種類を選びます。）

4 ◁▷を押して**Aステンシル**を選び、実行 を押します。

（欧文の書体の種類を選びます。）

設定後、文字入力の画面に戻ります。



電源を入れたときの書体を決める

1 設定 を押します。

2 △▽を押して**初期フォント**にし、実行 を押します。

3 △▽を押して和文フォントを選んだ後、◁▷を押してフォント名を選びます。

4 △▽を押して欧文フォントを選んだ後、◁▷を押してフォント名を選びます。

5 実行 を押します。

6 OFF を押して一度電源を切り、再びON を押して電源を入れます。

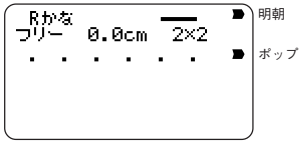
7 文字入力の画面を表示させます。

文字を入力すると、指定したフォントで入ります。

●「登録データ」や「前回データ」を選択し呼び出したデータを使う場合は、現在の書体ではなくそのデータの作成時の書体が優先されます。

画面表示について

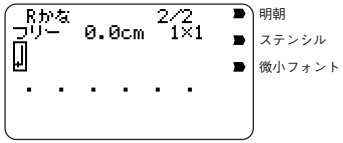
- 入力中の文字の書体を■で示します。



- 欧文書体は書体ごとに大きさ、バランスが設定されていますので、混在させるとバランスが不釣り合いになることがあります。

微小フォントについて

印刷するときは行数(入力した行数または選んだフォーマットの行数)とテープ幅によって微小フォントで印刷されます。このとき、画面右に「微小フォント」の■が点灯します。



●微小フォントには、次のような特徴があります。

- フォントの設定は無効です。(すべて同じフォントで印刷されます)
- 文字体または文字修飾を設定すると、きれいに印刷できないことがあります。
- 絵文字の場合は、きれいに印刷できないことがあります。

文字を目立たせる

文字を「太字」「白抜」にして目立たせることができます(文字体)。

- 絵文字は、文字体の指定はできません。

標準　住所録

太字　住所録

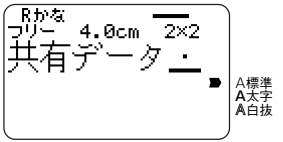
白抜　住所録

1 **文字を入力します。**

2 **機能を押し、指を離してから文字体 2" ふを押します。**

3 **△▽◁▷を押して文字体の種類を選び、実行を押します。**

- A標準を選ぶと、指定済みの文字体を通常の文字に戻すことができます。
- 設定後、文字入力の画面に戻ります。



画面右の「A標準」・「A太字」・「A白抜」に■がつきます。

文字に飾りをつける

フリーラベルでは、文字に網を重ねたり、下線をつけたり、枠をつけたりすることができます。
また、用途別ラベルでは、フォーマットにより枠をつけることができます。

網　掛	下　線	枠付
修飾	修飾	修飾

文字修飾を指定する

1 **文字を入力します。**

2 **機能を押し、指を離してから3を押します。**

3 **△▽を押して文字修飾の種類を選びます。**

- 用途別ラベルでは「枠付」に固定されています。「網掛」「下線」を選ぶことはできません。

4 **◁▷を押して手順3で選んだ文字修飾の「なし/あり」を選び、実行を押します。**

- 設定後、文字入力の画面に戻ります。

こんな文字修飾もできます

網掛、下線、枠付の飾りを重ねてつけることもできます。

特売　**網掛＋枠付**

特売　**網掛＋下線**

- 文字の大きさによっては、以下の現象が起きることがあります。
  - 枠と文字が重なって印刷される。
  - 下線と文字が重なって印刷される。
  - 枠と下線が重なって印刷される。

設定編

文字の入力方法や画面の明るさなど、本機を操作するための設定方法について説明します。

設定を変える

文字の入力方法や画面の明るさなどの設定を使いやすいように変更することができます。

設定できる項目

電源を入れて最初に設定を押すと、右の画面が表示されます。

▲▼で設定したい項目を選んで画面を切り替え、設定を変更します。

- 電源を入れた直後以外の画面では、一部の項目が画面に表示されないことがあります。

設定項目		内容	ページ
入力設定	挿入/上書き	文字の入力方法を決める	57
	ローマ字入力/かな入力	日本語の入力方法を決める	48
輝度調整		画面の濃淡を調整する	63
印刷濃度		印刷の濃さを調整する	64
初期フォント		入力文字の最初の書体を決める	60
デモ印刷		ラベルの印刷例を印刷します。	64

画面の明るさを変えたい

画面の表示が見えにくいときは、画面の明るさ(コントラスト)を調整することができます。

1 設定を押します。

2 ▲▼を押して輝度調整を選び実行を押します。

3 ◀▶を押して明るさを調整し、実行を押します。

◀を押すごとに薄く、▶を押すごとに濃くなります。

印刷の濃さを変えたい

印刷された文字が薄かったり、濃かったりしたときは、お好きな濃さに変えることができます。

1 設定を押します。

2 ∧∨を押して印刷濃度を選び、実行を押します。

3 〈〉を押して濃さを設定し、実行を押します。

1 にすると1番薄く印刷され、5 にすると1番濃く印刷されます。

- 印刷の濃さの設定を変更しても、使用環境や使用状況が変わらない場合は、実際に印刷される濃度が変わらないことがあります。

サンプルデータを印刷する(デモ印刷)

内蔵のサンプルデータを印刷して、本機でどんなラベルが作れるかを見ることができます。

重要 **デモ印刷を行うと、前回作成したデータは消えてしまいます。大切なデータの場合には、登録してから印刷をしてください。また、ノートなどに控えをとっておいてください。(データの登録→45ページ)**

1 テープカートリッジがセットされていることを確認します。

- テープカートリッジについて→17ページ

2 電源が入っているときは OFF を押して電源を切ります。

3 ON を押して電源を入れます。

4 設定を押します。

5 ∧∨を押してデモ印刷を選び、実行を押します。

6 〈〉を押して印刷を選び、実行を押します。

7 「枚数　1枚」「カットモード　カットする」になっていることを確認します。

- 印刷枚数やカットモードを変更することもできます。(42ページ)
- 特殊なテープで印刷するときは、テープカートリッジに合わせて、カットモードを変更してください。(42ページ)

8 実行を押します。

- 印刷が始まります。
- セットしているテープカートリッジの幅によって、印刷される内容は異なります。

9 **印刷が終了したら〈〉を押して終了を選び、実行を押します。**

「終了しますか？」と表示されます。

10 **実行を押します。**

MEMO

付　録

電源について

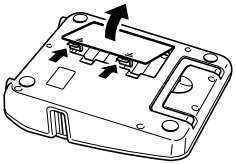
本機を使うときは、電源として同梱のACアダプターのほかに、市販のアルカリ乾電池を使うことができます。

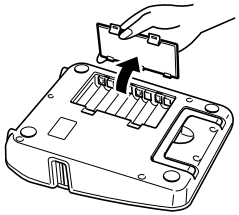
乾電池で使う

市販の単3形アルカリ乾電池を8本使用します。（必ずアルカリ乾電池をご使用ください。）

1 **本体裏側の乾電池カバーを取り外します。**

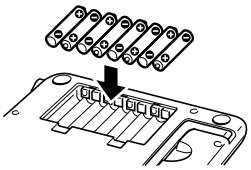
乾電池カバーに無理な力(逆に曲げるなど)を加えないでください。故障の原因となります。



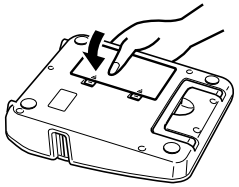


2 **乾電池をセットします。**

⊕と⊖の向きに注意してセットしてください。



3 **乾電池カバーを取り付けます。**



重要

- アルカリ電池が消耗した状態で使用すると、印刷中に電源がOFFになることがあります。同梱のACアダプターでお使いになることをおすすめします。
- 10℃未満の低温下で使用すると、電池の特性上、電池容量が低下するため、画面に「電池残り少」と表示されやすくなります。その場合は、本機を使用温度範囲(10℃～35℃)の環境でご使用ください。
- 電源が入っているときや、電源を切った後も表示が画面から完全に消えるまでは、乾電池やACアダプター(13ページ)を取り外さないでください。一時的に保存された作成中の文章や本機に登録した文章、設定された内容が消去されてしまいます。
- 「電池からACアダプターに切り替えるとき」「ACアダプターから電池に切り替えるとき」は、必ず、一度電源を切ってからACアダプターの接続や電池のセットをしてください。電源を入れた状態で行うと、自動的に電源が切れて、作成中の文章が消去される場合があります。
- 松下電池工業製オキシライド乾電池ZR6Yを使用して印刷しているときは、電池消耗メッセージが出る前に本機の電源が切れることがあります。

電池寿命について

標準印刷条件で、18mmテープカートリッジ約2巻分の印刷ができます。

- 黒い部分の多い文字を印刷したり、低温下で使用した場合は、電池寿命は短くなります。
- 長期間ご使用にならない場合は、アルカリ乾電池を取り外して保管してください。
- 本機をご使用にならない場合も、2年に1度は必ず乾電池を交換してください。

⚠ 危険

アルカリ電池について

アルカリ電池からもれた液が目に入ったときは、すぐに次の処置を行ってください。

1. 目をこすらずにすぐにきれいな水で洗い流す。
2. ただちに医師の治療を受ける。

そのままにしておくと失明の原因となります。

⚠ 警告

電池について

電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となります。次のことは必ずお守りください。

- 分解しない、ショートさせない
- 加熱しない、火の中に投入しない
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
- 種類の違う電池を混ぜて使用しない
- 充電しない
- 極性(+と-の向き)に注意して正しく入れる

⚠ 注意

電池について

電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。

- 本機で指定されている電池以外は使用しない
- 長時間使用しないときは、本機から電池を取り出しておく

乾電池のセットおよび乾電池交換時の注意

本機電池収納部内の電池バネには、鋭利な部分があります。「乾電池をセットするとき」や「乾電池を交換するとき」には、電池バネには触らないでください。指を切るおそれがあります。

お手入れの方法

プリンターヘッドやゴムローラーがよごれていると、ラベルにきれいに印刷されません。次の手順にしたがって、プリンターヘッドやゴムローラーをきれいにしてください。

綿棒できれいにする

重要

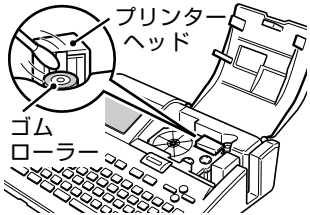
- プリンターヘッドやゴムローラーのお手入れは、綿棒などのやわらかいもので行ってください。また、綿棒は極細タイプをお使いになることをおすすめします。

1 収納部オープンボタンを押して、テープカートリッジ収納部のカバーを開けます。

- テープカートリッジが装着されているときは、テープカートリッジを取り出します。

2 アルコールを浸した綿棒でプリンターヘッド、ゴムローラーの表面をふきます。

ローラーとヘッドが接触する部分を重点的にふいてください。



- ゴムローラーは、機能を押し、指を離してからテープ繰り 9よ を押すと回転します。
- 市販のカセットテープレコーダー用のヘッドクリーニングキットもご使用になれます。

クリーニングテープを使う

別売のクリーニングテープ(XR-24CLE)を使うこともできます。

1 **収納部オープンボタンを押して、テープカートリッジ収納部のカバーを開けます。**

- テープカートリッジが装着されているときは、テープカートリッジを取り出します。

2 **クリーニングテープを本機に装着します。**

3 **(ON)を押して電源を入れます。**

4 **(機能)を押し、指を離してから(9 よ テープ送り)を押して、「テープ送り」を1～2回行います。**

詳しくはクリーニングテープに付属の取扱説明書をご参照ください。

本体もお手入れしましょう

やわらかい布を水に浸してから固くしぼって、本体を拭いてください。

本体を傷つけるので、ベンジン、アルコールやシンナーなどの揮発性のものは使わないでください。

こんなときは（トラブルシューティング）

本機がうまく動かないときには、次の対処方法にしたがってトラブルを解決してください。次の対処方法で解決できないトラブルは、故障している可能性もありますので、お買い上げ店、もよりの本機取扱店、もしくはカシオテクノ修理相談窓口にご相談ください。

症状	考えられる原因	ご確認ください
● (ON)を押しても何も表示されない	画面の明るさが適切でない	画面の明るさの設定を調整してください。(63ページ)
	ACアダプターがきちんと接続されていない	ACアダプターを正しく接続してください。(13ページ)
	乾電池が消耗している、または指定以外の乾電池を使用している	同梱のACアダプターをご使用になるか、新しい単3形アルカリ乾電池(別売)と交換してください。
	乾電池が正しくセットされていない	正しくセットし直してください。(67ページ)
●正しく終了するが何も印刷されない	「空白」だけが入力されている	印刷したい文章を入力してください。
	テープが終了している	新しいテープカートリッジと交換してください。
●印刷が不鮮明になった ●印刷がきれいにできない ●印刷が薄い	プリンターヘッドやゴムローラーが汚れている	クリーニングを行ってください。(68ページ)
	乾電池が消耗している	同梱のACアダプターをご使用になるか、新しい単3形アルカリ乾電池(別売)と交換してください。
	テープカートリッジが正しくセットされていない	正しくセットし直してください。
	印刷濃度の設定が薄い	印刷濃度を濃く設定してください。(64ページ)

症状	考えられる原因	ご確認ください
●印刷されない	乾電池が消耗している、または指定以外の乾電池を使用している	同梱のACアダプターをご使用になるか、新しい単3形アルカリ乾電池(別売)と交換してください。
●印刷中に電源が切れる	乾電池が消耗している。または指定以外の乾電池を使用している	同梱のACアダプターをご使用になるか、新しい単3形アルカリ乾電池(別売)と交換してください。
●文字が入力できない	[機能]を押した状態になっている	[取消し]を押して、文字が入力できる画面にします。
●目的の漢字に正しく変換されない	正しい「読み」が入力されていない	正しい「読み」を入力してください。特に、拗音(「しょう」の「ょ」など)や促音(「がっき」の「っ」など)の入力には注意しましょう。
	入力できる文字の種類が自分の思っている種類と違っている	[あア][aA]を押して変更してください。(48ページ)
●[印刷プレビュー]などの機能キーを押しても画面が変わらない	ひらがなに■が重なっている 例 あか 漢字に下線がついている 例 赤	ひらがなや漢字は必ず確定してください。■が重なっていたり下線がついていたりすると(確定前)、他の機能が使えません。
●[印刷]を押してもテープが出てこない	テープカートリッジ収納部のカバーがしっかりと閉まっていない	カバーをしっかり閉めてください。(10ページ)
	テープが終了している	新しいテープカートリッジ(別売)に交換してください。(17ページ)

症状	考えられる原因	ご確認ください
●[印刷]を押してもテープが出てこない	テープがつまっている	テープカートリッジを取り出して、つまったテープを指で引き出します。引き出したテープはハサミなどでカットしてください。そのあと、正しくセットし直します。(17ページ) 重要 印刷中に、次のようなことはしないでください。 ・テープ出口をふさぐ ・出てくるテープにさわる ・テープカートリッジ収納部のカバーを開ける ・電源を切る
	乾電池が消耗している	同梱のACアダプターをご使用になるか、新しい単3形アルカリ乾電池(別売)と交換してください。(67ページ)
●インクリボンがテープといっしょにテープ出口からでてきた	インクリボンがたるんでいるままで、テープカートリッジをセットした	テープカートリッジを取り出します。インクリボンが切れていないことを確かめてから、テープを巻きとってください。そのあと正しくセットし直してください。(17ページ) 重要 ・テープカートリッジをセットするときは、必ずインクリボンのたるみをとってください。 ・インクリボンが切れているときは、新しいテープカートリッジ(別売)に交換してください。

症状	考えられる原因	ご確認ください
●テープが切れない	テープカッターが摩耗している	カシオテクノ修理相談窓口に連絡して交換してください。(97ページ)
	テープ出口にテープがつまっている	電源を切って、テープカートリッジを取り出し、つまったラベルを取り除いてください。
	書式の余白が、「送り無」に設定されている	「余白小」、「余白中」または「余白大」に設定し直してください。(35ページ)
	カットモードを「カットしない」に設定している	「カットする」に設定してください。(42ページ)
	ラベルの長さが短い(余白小で約22mm以下 / 余白中で約29mm以下)	印刷終了後、ハサミなどでカットしてください。
●ラベルが貼れない	裏紙をはがしていない	裏紙をはがしてから貼ってください。(24ページ)
	貼る場所やものが適していない	表面がザラザラしているもの、水や油がついているもの、汚れているものなどには貼れません。(24ページ)

エラーメッセージ一覧

メッセージ	原因と対処	参照ページ
行数オーバー 印刷できません	• 印刷できる行数を超えて印刷しようとした場合 ➜行数を減らすか、テープ幅を変えてください。	83
行数オーバー フレーム付きで印刷できません	• フレーム印刷できる行数を超えて印刷しようとした場合 ➜行数を減らすか、テープ幅を変えてください。	40
候補なし	• 単漢字変換で候補の漢字がない場合 ➜ 取消し を押して違う読みを入力してください。	52
指定したテープ長より長くなります 実行/取消し	• 印刷する場合 ➜ 実行 を押してください。 • 印刷しない場合 ➜ 取消し を押し、「文字数を減らす」、「テープ長を指定し直す」、または書式内で「テープ長を自動にする」などを行ってください。	36
数字を入力してください	• ナンバリング印刷で、何も入力しないで印刷しようとした場合 ➜数字を入力してください。	31
前回データはありません	• 前回作成したデータがないときに、前回データを呼び出そうとした場合 ➜他の作成方法を選んでください。	16
データ異常　初期化します	• メモリー初期化をしないで本機を操作した場合 • 本機が正しく電源OFFする前にACアダプターや電池を抜いた場合 ➜ 実行 を押して、メモリー初期化をしてください。	15
テープエラー テープカートリッジが不適当です	• テープカートリッジ収納部のカバーがしっかりと閉まっていない場合 ➜カバーをしっかりと閉めてください。 • 印刷しようとしているものに対して、テープカートリッジが不適当な場合 ➜電源をOFFしてテープカートリッジを交換してください。	17
テープエラー テープカートリッジを装着してください	• テープカートリッジが装着されていない。または、装着のしかたが誤っている場合 ➜テープカートリッジの状態を確認してください。	17
プリントエラー テープカートリッジを確認してください	• 印刷中に、テープがつまってしまった場合 ➜電源をOFFして、テープカートリッジを取り出し、つまったテープを取り除いてください。	18

メッセージ	原因と対処	参照ページ
プリントエラー テープカートリッジを確認してください	• テープカッターに異物がはさまった場合 ➜電源をOFFして、テープカートリッジを取り出し、テープカッターにはさまった異物を取り除いてください。	18
	• ゴムローラーに「ゴミ」や「テープの切れかす」などの異物がついた場合 ➜ゴムローラーについた異物を取り除き、ゴムローラーをクリーニングしてください。	68
	• 本機を直射日光などの強い光が当たる場所で使用し、本機内部にある光センサーが誤作動を起こした場合 ➜強い光が当たらない場所でお使いください。	
	• 電池消耗などにより、正しくテープをカットすることができなかった場合 ➜同梱のACアダプターをご使用になるか、新しい単3形アルカリ電池(別売)と交換してください。	13、67
	※上記の対処をしても、メッセージが表示される場合は、お買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口にお問い合わせください。	97

メッセージ	原因と対処	参照ページ
電池残り少　続行しますか? 実行/取消し	• 乾電池が消耗している場合 ➜できるだけ早く新しい単3形アルカリ乾電池に交換することをおすすめします。または同梱のACアダプターを使用してください。 • 10℃以下の低温下で使用した場合 ➜使用温度範囲(10℃～35℃)でご使用ください。	67、13
電池残り少　交換してください	• 乾電池が消耗している場合 ➜できるだけ早く新しい単3形アルカリ乾電池に交換することをおすすめします。または同梱のACアダプターを使用してください。 • 10℃以下の低温下で使用した場合 ➜使用温度範囲(10℃～35℃)でご使用ください。	67、13
登録データはありません	• データが登録されていないときに、呼び出そうとした場合 ➜データを登録してください。	45
長さオーバー 印刷できません	• 印刷できるテープの長さを超えて印刷しようとした場合 ➜テープの長さを短くする、または印刷枚数を減らしてください。	36

メッセージ	原因と対処	参照ページ
長さが短すぎてカットできません 実行/取消し	印刷時に先頭の不要部分のカットができない場合、または、1 枚ごとのカットができない場合 • 印刷する場合 ➜ 実行 を押してください。 印刷が終わったら、ハサミなどで切ってください。 • 自動的にテープカットをしながら印刷をする場合 ➜ 余白を大きく(小➜中または中➜大)指定し直してください(余白を「大」に指定すると必ず前後の余白をそろえることができます)。	35、42
文字が入力されていません	• 文字を入れないで印刷または印刷プレビューしようとした場合 ➜ 文字を入力してから印刷または印刷プレビューの操作をしてください。	22

ローマ字入力一覧

ローマ字入力するときの、つづりかたの一覧表です。

あ行	あ ア	A	い イ	I	う ウ	U	え エ	E	お オ	O
か行	か カ	KA CA	き キ	KI	く ク	KU CU QU	け ケ	KE	こ コ	KO CO
が行	が ガ	GA	ぎ ギ	GI	ぐ グ	GU	げ ゲ	GE	ご ゴ	GO
さ行	さ サ	SA	し シ	SI SHI	す ス	SU	せ セ	SE	そ ソ	SO
ざ行	ざ ザ	ZA	じ ジ	ZI JI	ず ズ	ZU	ぜ ゼ	ZE	ぞ ゾ	ZO
た行	た タ	TA	ち チ	TI CHI	つ ツ	TU TSU	て テ	TE	と ト	TO
だ行	だ ダ	DA	ぢ ヂ	DI	づ ヅ	DU	で デ	DE	ど ド	DO
な行	な ナ	NA	に ニ	NI	ぬ ヌ	NU	ね ネ	NE	の ノ	NO
は行	は ハ	HA	ひ ヒ	HI	ふ フ	HU FU	へ ヘ	HE	ほ ホ	HO
ば行	ば バ	BA	び ビ	BI	ぶ ブ	BU	べ ベ	BE	ぼ ボ	BO
ぱ行	ぱ パ	PA	ぴ ピ	PI	ぷ プ	PU	ぺ ペ	PE	ぽ ポ	PO

ま行	ま	マ	み	ミ	む	ム	め	メ	も	モ
	MA		MI		MU		ME		MO	
や行	や	ヤ			ゆ	ユ	いぇ	イェ	よ	ヨ
	YA				YU		YE		YO	
ら行	ら	ラ	り	リ	る	ル	れ	レ	ろ	ロ
	RA		RI		RU		RE		RO	
	LA		LI		LU		LE		LO	
わ行	わ	ワ	ゐ	ヰ	う	ウ	ゑ	ヱ	を	ヲ
	WA		WI		WU		WE		WO	
ん行	ん	ン								
	NN，N＋子音 MP＋母音 MB＋母音									

きゃ行	きゃ	キャ	きぃ	キィ	きゅ	キュ	きぇ	キェ	きょ	キョ
	KYA		KYI		KYU		KYE		KYO	
ぎゃ行	ぎゃ	ギャ	ぎぃ	ギィ	ぎゅ	ギュ	ぎぇ	ギェ	ぎょ	ギョ
	GYA		GYI		GYU		GYE		GYO	
くぁ行	くぁ	クァ	くぃ	クィ			くぇ	クェ	くぉ	クォ
	QA		QI				QE		QO	
くわ行	くわ	クヮ	くぃ	クィ	くぅ	クゥ	くぇ	クェ	くぉ	クォ
	KWA		KWI		KWU		KWE		KWO	
	QWA									
ぐわ行	ぐわ	グヮ	ぐぃ	グィ	ぐぅ	グゥ	ぐぇ	グェ	ぐぉ	グォ
	GWA		GWI		GWU		GWE		GWO	
しゃ行	しゃ	シャ			しゅ	シュ	しぇ	シェ	しょ	ショ
	SYA				SYU		SYE		SYO	
	SHA				SHU		SHE		SHO	
じゃ行	じゃ	ジャ	じぃ	ジィ	じゅ	ジュ	じぇ	ジェ	じょ	ジョ
	ZYA		ZYI		ZYU		ZYE		ZYO	
	JA				JU		JE		JO	
	JYA		JYI		JYU		JYE		JYO	
ちゃ行	ちゃ	チャ	ちぃ	チィ	ちゅ	チュ	ちぇ	チェ	ちょ	チョ
	TYA		TYI		TYU		TYE		TYO	
	CYA		CYI		CYU		CYE		CYO	
	CHA				CHU		CHE		CHO	

ぢゃ行	ぢゃ	ヂャ	ぢぃ	ヂィ	ぢゅ	ヂュ	ぢぇ	ヂェ	ぢょ	ヂョ
	DYA		DYI		DYU		DYE		DYO	
つぁ行	つぁ	ツァ	つぃ	ツィ			つぇ	ツェ	つぉ	ツォ
	TSA		TSI				TSE		TSO	
てゃ行	てゃ	テャ	てぃ	ティ	てゅ	テュ	てぇ	テェ	てょ	テョ
	THA		THI		THU		THE		THO	
でゃ行	でゃ	デャ	でぃ	ディ	でゅ	デュ	でぇ	デェ	でょ	デョ
	DHA		DHI		DHU		DHE		DHO	
とぅ					とぅ	トゥ				
					TWU					
どぅ					どぅ	ドゥ				
					DWU					
にゃ行	にゃ	ニャ	にぃ	ニィ	にゅ	ニュ	にぇ	ニェ	にょ	ニョ
	NYA		NYI		NYU		NYE		NYO	
ひゃ行	ひゃ	ヒャ	ひぃ	ヒィ	ひゅ	ヒュ	ひぇ	ヒェ	ひょ	ヒョ
	HYA		HYI		HYU		HYE		HYO	
びゃ行	びゃ	ビャ	びぃ	ビィ	びゅ	ビュ	びぇ	ビェ	びょ	ビョ
	BYA		BYI		BYU		BYE		BYO	
ぴゃ行	ぴゃ	ピャ	ぴぃ	ピィ	ぴゅ	ピュ	ぴぇ	ピェ	ぴょ	ピョ
	PYA		PYI		PYU		PYE		PYO	
ふぁ行	ふぁ	ファ	ふぃ	フィ			ふぇ	フェ	ふぉ	フォ
	FA		FI				FE		FO	
ふゃ行	ふゃ	フャ	ふぃ	フィ	ふゅ	フュ	ふぇ	フェ	ふょ	フョ
	FYA		FYI		FYU		FYE		FYO	
ぶゃ行	ぶゃ	ブャ	ぶぃ	ブィ	ぶゅ	ブュ	ぶぇ	ブェ	ぶょ	ブョ
	VYA		VYI		VYU		VYE		VYO	
みゃ行	みゃ	ミャ	みぃ	ミィ	みゅ	ミュ	みぇ	ミェ	みょ	ミョ
	MYA		MYI		MYU		MYE		MYO	
りゃ行	りゃ	リャ	りぃ	リィ	りゅ	リュ	りぇ	リェ	りょ	リョ
	RYA		RYI		RYU		RYE		RYO	
	LYA		LYI		LYU		LYE		LYO	
ヴァ行	ぶぁ	ヴァ	ぶぃ	ヴィ	ぶ	ヴ	ぶぇ	ヴェ	ぶぉ	ヴォ
ぶぁ行	VA		VI		VU		VE		VO	

小文字(拗音・促音)

あ	ア	い	イ	う	ウ	え	エ	お	オ	つ	ツ
XA シフト+A		XI シフト+I		XU シフト+U		XE シフト+E		XO シフト+O		XTU、XTSU、LTU T シフト U TS シフト U	
や	ヤ	ゆ	ユ	よ	ヨ	わ	ワ	カ		ケ	
XYA Y シフト A		XYU Y シフト U		XYO Y シフト O		XWA W シフト A		XKA K シフト A		XKE K シフト E	

※N以外の子音を2度入力しても「っ」や「ッ」になります。

記号・絵文字一覧

記号

●記述・カッコ

、。，．・：；？！゛゜´｀¨＾￣＿ヽヾゝゞ〃仝々〆〇ー―‐／＼～∥｜…‥‘’“”（）〔〕［］｛｝〈〉《》「」『』【】ゎゐゑヵヶ

●学術

＋－±×÷＝≠＜＞≦≧∞∴♂♀∠⊥⌒∂∇≡≒≪≫√∽∝∵∫∬∈∋⊆⊇⊂⊃∪∩∧∨¬⇒⇔∀∃∓≃

●単位・略

°′″℃¥$¢£%Å‰♯♭㎎㎏㏄㎜㎝㎞㏊㏍㏘℡№㏇㍑㍗㍻〒㉿☎TEL FAX No. K.K. (株) (有) (代) (内) (直) (呼) (財) (特) (学) (㈱) (㈲) 注 控 印 秘 検 済 明治 大正 昭和 平成 '90 '91 '92 '93 '94 '95 '96 '97 '98 '99 '00 '01 '02 '03 '04 '05 '06 '07 '08 '09 '10 '11 '12 '13 '14 '15 '16 '17 '18 '19

●一般

＃＆＊＠§※〓♯♭♪†‡¶◯→←↑↓↘↖↗↙⇨⇦⇧⇩⇔⇳☞☜☚☛☆★○●◎◇◆□■△▲▽▼♠♤♥♡♣♧♦♢

●数字

①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳

Ⅰ Ⅱ Ⅲ Ⅳ Ⅴ Ⅵ Ⅶ Ⅷ Ⅸ Ⅹ ⅰ ⅱ ⅲ ⅳ ⅴ ⅵ ⅶ ⅷ ⅸ ⅹ

½ ¼ ¾

記　号

●数字

00 01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19
20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39
40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59
60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79
80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99

●ギリシア・ロシア

Α Β Γ Δ Ε Ζ Η Θ Ι Κ Λ Μ Ν Ξ Ο Π Ρ Σ Τ Υ
Φ Χ Ψ Ω α β γ δ ε ζ η θ ι κ λ μ ν ξ ο π
ρ σ τ υ φ χ ψ ω А Б В Г Д Е Ё Ж З И Й К
Л М Н О П Р С Т У Ф Х Ц Ч Ш Щ Ъ Ы Ь Э Ю
Я а б в г д е ё ж з и й к л м н о п р с
т у ф х ц ч ш щ ъ ы ь э ю я

絵文字

●オフィス

●スケジュール

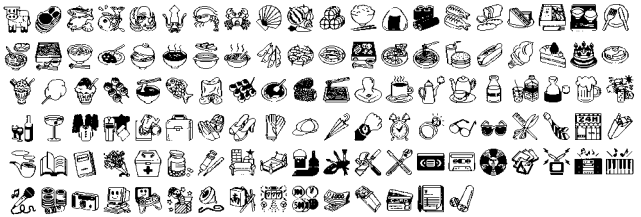
●天気

●注意

絵文字

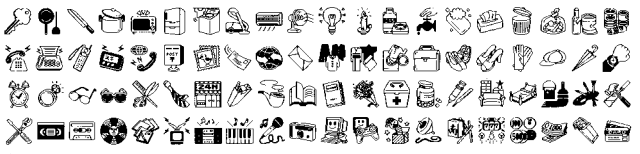
●案内

●店



●食べ物

●暮らし



●乗り物

絵文字

●季節

●ビデオ

●オーディオ

●おもしろ

●趣味

●スポーツ

●人物

絵文字

●生き物

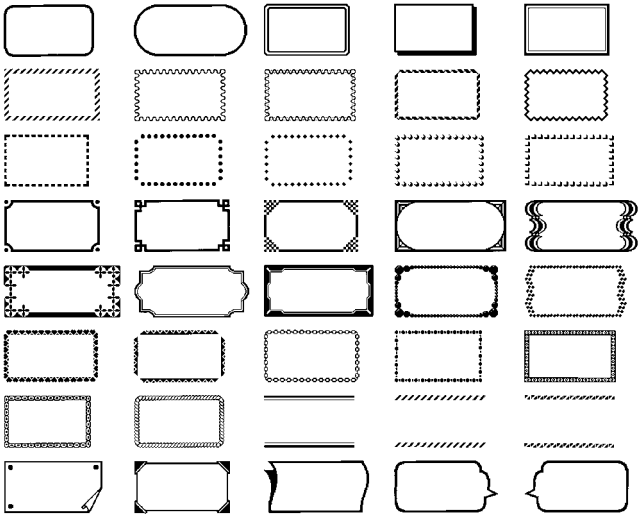
●干支

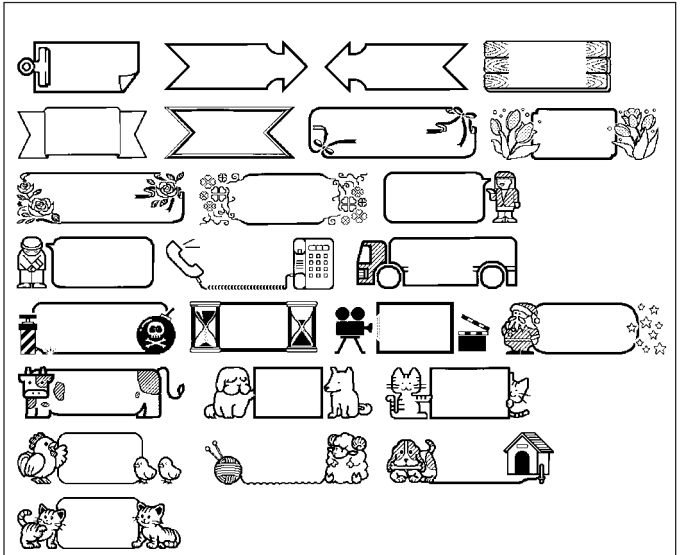
●星座

●全部

「オフィス」から「星座」までの絵文字すべてが入ります。表示される順番は多少変わります。

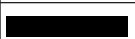
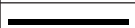
フレーム一覧

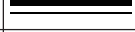
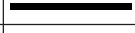
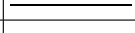
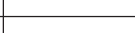


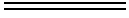
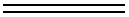


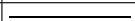
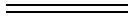
用途別ラベルフォーマット一覧

お使いになるテープカートリッジの幅によって、フォーマットの表示が異なることがあります（入力項目が異なることはありません）。

用途	規格	方向	番号	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅					
						24	18	12	9	6	3.5
ビデオ（17種類）	VHS（148㎜長）	縦	1		タイトル	○	○	○	○	−	−
		縦	2		タイトル コメント						
		縦	3		ぶんるい、タイトル、 コメント1～3						
		縦	4		タイトル1～3						
		縦	5		タイトル1～3、 タイトル4～6						
	ミニDV（65㎜長）	縦	1		タイトル	○	○	○	○	−	−
		縦	2		タイトル コメント						
		縦	3		ぶんるい、タイトル、 コメント1～2						
		縦	4		タイトル1～3						
	8ミリ（94㎜長）	縦	1		タイトル	○	○	○	○	−	−
		縦	2		タイトル コメント						
		縦	3		ぶんるい、タイトル、 コメント1～2						
		縦	4		タイトル1～3						

用途	規格	方向	番号	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅					
						24	18	12	9	6	3.5
ビデオ（17種類）	VHS-C（89㎜長）	縦	1		タイトル	○	○	○	○	−	−
		縦	2		タイトル コメント						
		縦	3		ぶんるい、タイトル、 コメント1～3						
		縦	4		タイトル1～3						
オーディオ（15種類）	MD（71㎜長）	横	1		タイトル	○	○	○	○	−	−
		横	2		タイトル、 コメント						
		横	3		タイトル、コメント 1～2						
		横	4		タイトル1～3						
	MD背（57㎜長）	横	1		タイトル	−	−	−	−	○	○
	カセット（99㎜長）	横	1		タイトル	○	○	○	○	−	−
		横	2		タイトル、 コメント						
		横	3		タイトル、 コメント1～2						
		横	4		タイトル1～3						
	CD-R（114㎜長）	横	1		タイトル	○	○	○	○	−	−
		横	2		タイトル、 コメント						
		横	3		タイトル、 コメント1～2						
		横	4		タイトル1～3						
	CD-R背（114㎜長）	横	1		タイトル	−	−	−	−	○	○
		横	2		タイトル、 コメント						

用途	規格	方向	番号	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅					
						24	18	12	9	6	3.5
名前（18種類）	一般（65㎜長）	横	大1		こうもく、なまえ	○	○	○	○	−	−
		横	大2		なまえ、こうもく						
		横	大3		なまえ、こうもく1～2						
	一般（45㎜長）	横	小1		こうもく、なまえ	○	○	○	○	−	−
		横	小2		なまえ、こうもく						
		横	小3		なまえ、こうもく1～2						
	子供（80㎜長）	横	大1		ねん・くみ、なまえ	○	○	○	○	−	−
		横	大2		ねん・くみ、なまえ						
		横	大3		がっこう、ねん・くみ、なまえ						
		横	大4		がっこう、ねん・くみ、なまえ						
	子供（50㎜長）	横	小1		ねん・くみ、なまえ	○	○	○	○	−	−
		横	小2		ねん・くみ、なまえ						
		横	小3		がっこう、ねん・くみ、なまえ						
		横	小4		がっこう、ねん・くみ、なまえ						
	ふりがな付（80㎜長）	横	大1		ふりがな、なまえ	○	○	○	○	−	−
		横	大2		ねん・くみ、ふりがな、なまえ						
	ふりがな付（50㎜長）	横	小1		ふりがな、なまえ	○	○	○	○	−	−
		横	小2		ねん・くみ、ふりがな、なまえ						

用途	規格	方向	番号	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅					
						24	18	12	9	6	3.5
送付（19種類）	封筒（210㎜長）	縦	大1		なまえ	○	○	○	○	−	−
		縦	大2		じゅうしょ、なまえ						
		縦	大3		じゅうしょ、なまえ						
	封筒（140㎜長）	縦	小1		なまえ	○	○	○	○	−	−
		縦	小2		じゅうしょ、なまえ						
		縦	小3		じゅうしょ、なまえ						
	はがき（90㎜長）	縦	1		なまえ	○	○	○	○	−	−
		縦	2		じゅうしょ、なまえ						
		縦	3		じゅうしょ1、じゅうしょ2、なまえ						
	差出人（65㎜長）	縦	大1		じゅうしょ、なまえ	○	○	○	○	−	−
		縦	大2		じゅうしょ1、じゅうしょ2、なまえ						
	差出人（45㎜長）	縦	小1		じゅうしょ、なまえ	○	○	○	○	−	−
		縦	小2		じゅうしょ1、じゅうしょ2、なまえ						
	のし紙（95㎜長）	縦	大1		こうもく	○	○	○	○	−	−
		縦	大2		こうもく1～2						
		縦	大3		こうもく1～2						

用途	規格	方向	番号	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅					
						24	18	12	9	6	3.5
送付（19種類）	のし紙（65㎜長）	縦	小1		こうもく	○	○	○	○	−	−
		縦	小2		こうもく1～2						
		縦	小3		こうもく1～2						
ファイル（17種類）	ファイル背（180㎜長）	縦	大1		タイトル	○	○	○	○	−	−
		縦	大2		タイトル コメント						
		縦	大3		ぶんるい、タイトル、 コメント1～3						
	ファイル背（140㎜長）	縦	小1		タイトル	○	○	○	○	−	−
		縦	小2		タイトル、 コメント						
		縦	小3		ぶんるい、タイトル、 コメント1～3						
	FD/MO（71㎜長）	横	1		タイトル	○	○	○	○	−	−
		横	2		タイトル、 コメント						
		横	3		タイトル、 コメント1～2						
	CD-R（114㎜長）	横	1		タイトル	○	○	○	○	−	−
		横	2		タイトル、 コメント						
		横	3		タイトル、 コメント1～2						
		横	4		タイトル1～3						
	CD-R背（114㎜長）	横	1		タイトル	−	−	−	−	○	○
		横	2		タイトル、 コメント						

用途	規格	方向	番号	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅					
						24	18	12	9	6	3.5
ファイル（17種類）	備品管理（70㎜長）	横	1		こうもく1～3	○	○	○	○	−	−
		横	2		こうもく1～2						
値札（10種類）	総額のみ（70㎜長）	横	大1		コメント、 ねだん	○	○	○	○	−	−
		横	大2		ひんもく、 ねだん						
		横	大3		ひんもく1～2、 ねだん						
	総額のみ（50㎜長）	横	小1		コメント、 ねだん	○	○	○	○	−	−
		横	小2		ひんもく、 ねだん						
		横	小3		ひんもく1～2、 ねだん						
	本体併記（70㎜長）	横	大1		ぜいこみ、 ほんたい	○	○	○	○	−	−
		横	大2		ひんもく、ぜいこみ、 ほんたい						
	本体併記（50㎜長）	横	小1		ぜいこみ、 ほんたい	○	○	○	○	−	−
		横	小2		ひんもく、ぜいこみ、 ほんたい						

ナンバリングフォーマット一覧

※3.5mm幅テープカートリッジはお使いになれません。

用途	規格	方向	番号	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅				
						24	18	12	9	6
		横	1		ナンバー	○	○	○	○	○
		横	2		コメント、ナンバー					
		横	3		ナンバー、コメント					
		横	4		コメント1、ナンバー、コメント2					
		横	5		コメント、ナンバー					
		横	6		ナンバー、コメント					

テープ幅と行数・倍率一覧

印刷可能行数や最大"縦"倍率は、ご使用になるテープの幅やフォーマットによって異なります。

		3.5mm	6mm	9mm	12mm	18mm/24mm	取扱説明書参照ページ
最大印刷可能行数	標準フォント	—	1行	1行	2行	3行	33ページ 39ページ
	微小フォント	1行	2行	3行	5行	6行	61ページ
最大"縦"倍率	標準フォント	—	1倍	2倍	3倍	4倍	38ページ 39ページ
	微小フォント	1倍	1倍	2倍	3倍	3倍	61ページ
"縦"倍率の合計	標準フォント	—	1	2まで	2まで*	3まで*	33ページ 38ページ 39ページ 61ページ
	微小フォント	1	2まで*	3まで*	5まで*	6まで*	

*複数行のときの合計です。

各機能における使用可能テープ幅一覧

	3.5mm	6mm	9mm	12mm	18mm	24mm
フリーラベル	○	○	○	○	○	○
フレーム	×	○	○	○	○	○
用途別ラベル	○	○	○	○	○	○
ナンバリング印刷	×	○	○	○	○	○

内蔵漢字一覧

内蔵されている漢字の中には単漢字変換(52ページ)を使わないと変換できないものもあります。

JIS第1水準漢字一覧

あ
亜唖娃阿哀愛挨姶逢葵茜穐悪握渥旭葦芦鯵梓圧斡扱宛姐虻飴絢綾鮎或粟袷安庵按暗案闇鞍杏

い
以伊位依偉囲夷委威尉惟意慰易椅為畏異移維緯胃萎衣謂違遺医井亥域育郁磯一壱溢逸稲茨芋鰯允印咽員因姻引飲淫胤蔭院陰隠韻吋

う
右宇烏羽迂雨卯鵜窺丑碓臼渦嘘唄欝蔚鰻姥厩浦瓜閏噂云運雲

え
荏餌叡営嬰影映曳栄永泳洩瑛盈穎頴英衛詠鋭液疫益駅悦謁越閲榎厭円園堰奄宴延怨掩援沿演炎焔煙燕猿縁艶苑薗遠鉛鴛塩

お
於汚甥凹央奥往応押旺横欧殴王翁襖鴬鴎黄岡沖荻億屋憶臆桶牡乙俺卸恩温穏音

か
下化仮何伽価佳加可嘉夏嫁家寡科暇果架歌河火珂禍禾稼箇花苛茄荷華菓蝦課嘩貨迦過霞蚊俄峨我牙画臥芽蛾賀雅餓駕介会解回塊壊廻快怪悔恢懐戒拐改魁晦械海灰界皆絵芥蟹開階貝凱劾外咳害崖慨概涯碍蓋街該鎧骸浬馨蛙垣柿蛎鈎劃嚇各廓拡撹格核殻獲確穫覚角赫較郭閣隔革学岳楽額顎掛笠樫橿梶鰍潟割喝恰括活渇滑葛褐轄且鰹叶椛樺鞄株兜竃蒲釜鎌噛鴨栢茅萱粥刈苅瓦乾侃冠寒刊勘勧巻喚堪姦完官寛干幹患感慣憾換敢柑桓棺款歓汗漢澗潅環甘監看竿管簡緩缶翰肝艦莞観諌貫還鑑間閑関陥韓館舘丸含岸巌玩癌眼岩翫贋雁頑顔願

き
企伎危喜器基奇嬉寄岐希幾忌揮机旗既期棋棄機帰毅気汽畿祈季稀紀徽規記貴起軌輝飢騎鬼亀偽儀妓宜戯技擬欺犠疑祇義蟻誼議掬菊鞠吉吃喫桔橘詰砧杵斬却客脚虐逆丘久仇休及吸宮弓急救朽求汲泣灸球究窮笈級糾給旧牛去居巨拒拠挙渠虚許距鋸漁禦魚亨享京供侠僑兇競共凶協匡卿叫喬境峡強彊怯恐恭挟教橋況狂狭矯胸脅興蕎郷鏡響饗驚仰凝尭暁業局曲極玉桐粁僅勤均巾錦斤欣欽琴禁禽筋緊芹菌衿襟謹近金吟銀

く
九倶句区狗玖矩苦躯駆駈駒具愚虞喰空偶寓遇隅串櫛釧屑屈掘窟沓靴轡窪熊隈粂栗繰桑鍬勲君薫訓群軍郡

け
卦袈祁係傾刑兄啓圭珪型契形径恵慶慧憩掲携敬景桂渓畦稽系経継繋罫茎荊蛍計詣警軽頚鶏芸迎鯨劇戟撃激隙桁傑欠決潔穴結血訣月件倹倦健兼券剣喧圏堅嫌建憲懸拳捲検権牽犬献研硯絹県肩見謙賢軒遣鍵険顕験鹸元原厳幻弦減源玄現絃舷言諺限

こ
乎個古呼固姑孤己庫弧戸故枯湖狐糊袴股胡菰虎誇跨鈷雇顧鼓五互伍午呉吾娯後御悟梧檎瑚碁語誤護醐乞鯉交佼侯候倖光公功効勾厚口向后喉坑垢好孔孝宏工巧巷幸広庚康弘恒慌抗拘控攻昂晃更杭校梗構江洪浩港溝甲皇硬稿糠紅紘絞綱耕考肯肱腔膏航荒行衡講貢購郊酵鉱砿鋼閣降項香高鴻剛劫号合壕拷濠豪轟麹克刻告国穀酷鵠黒獄漉腰甑忽惚骨狛込此頃今困坤墾婚恨懇昏昆根梱混痕紺艮魂

さ
些佐叉唆嵯左差査沙瑳砂詐鎖裟坐座挫債催再最哉塞妻宰彩才採栽歳済災采犀砕砦祭斎細菜裁載際剤在材罪財冴坂阪堺榊肴咲崎埼碕鷺作削咋搾昨朔柵窄策索錯桜鮭笹匙冊刷察拶撮擦札殺薩雑皐鯖捌錆鮫皿晒三傘参山惨撒散桟燦珊産算纂蚕讃賛酸餐斬暫残

し
仕仔伺使刺司史嗣四士始姉姿子屍市師志思指支孜斯施旨枝止死氏獅祉私糸紙紫肢脂至視詞詩試誌諮資賜雌飼歯事似侍児字寺慈持時次滋治爾璽痔磁示而耳自蒔辞汐鹿式識鴫竺軸宍雫七叱執失嫉室悉湿漆疾質実蔀篠偲柴芝屡蕊縞舎写射捨赦斜煮社紗者謝車遮蛇邪借勺尺杓灼爵酌釈錫若寂弱惹主取守手朱殊狩珠種腫趣酒首儒受呪寿授樹綬需囚収周宗就州修愁拾洲秀秋終繍習臭舟蒐衆襲讐蹴輯週酋酬集醜什住充十従戎柔汁渋獣縦重銃叔夙宿淑祝縮粛塾熟出術述俊峻春瞬竣舜駿准循旬楯殉淳準潤盾純巡遵醇順処初所暑曙渚庶緒署書薯藷諸助叙女序徐恕鋤除傷償勝匠升召哨商唱嘗奨妾娼宵将小少尚庄床廠彰承抄招掌捷昇昌昭晶松梢樟樵沼消渉湘焼焦照症省硝礁祥称章笑粧紹肖菖蒋蕉衝裳訟証詔詳象賞醤鉦鍾鐘障鞘上丈丞乗冗剰城場壌嬢常情擾条杖浄状畳穣蒸譲醸錠嘱埴飾拭植殖燭織職色触食蝕辱尻伸信侵唇娠寝審心慎振新晋森榛浸深申疹真神秦紳臣芯薪親診身辛進針震人仁刃塵壬尋甚尽腎訊迅陣靭

す
筒諏須酢図厨逗吹垂帥推水炊睡粋翠衰遂酔錐錘随瑞髄崇嵩数枢趨雛据杉椙菅頗雀裾澄摺寸

せ
世瀬畝是凄制勢姓征性成政整星晴棲栖正清牲生盛精聖声製西誠誓請逝醒青静斉税脆隻席惜戚斥昔析石積籍績脊責赤跡蹟碩切拙接摂折設窃節説雪絶舌蝉仙先千占宣専尖川戦扇撰栓栴泉浅洗染潜煎煽旋穿箭線繊羨腺舛船薦詮賤践選遷銭銑閃鮮前善漸然全禅繕膳糎

そ
噌塑岨措曾曽楚狙疏疎礎祖租粗素組蘇訴阻遡鼠僧創双叢倉喪壮奏爽宋層匝惣想捜掃挿掻操早曹巣槍槽漕燥争痩相窓糟総綜聡草荘葬蒼藻装走送遭鎗霜騒像増憎臓蔵贈造促側則即息捉束測足速俗属賊族続卒袖其揃存孫尊損村遜

た
他多太汰詑唾堕妥惰打柁舵楕陀駄騨体堆対耐岱帯待怠態戴替泰滞胎腿苔袋貸退逮隊黛鯛代台大第醍題鷹滝瀧卓啄宅托択拓沢濯琢託鐸濁諾茸凧蛸只叩但達辰奪脱巽竪辿棚谷狸鱈樽誰丹単嘆坦担探旦歎淡湛炭短端箪綻耽胆蛋誕鍛団壇弾断暖檀段男談

ち
値知地弛恥智池痴稚置致蜘遅馳築畜竹筑蓄逐秩窒茶嫡着中仲宙忠抽昼柱注虫衷註酎鋳駐樗瀦猪苧著貯丁兆凋喋寵帖帳庁弔張彫徴懲挑暢朝潮牒町眺聴脹腸蝶調諜超跳銚長頂鳥勅捗直朕沈珍賃鎮陳

つ
津墜椎槌追鎚痛通塚栂掴槻佃漬柘辻蔦綴鍔椿潰坪壷嬬紬爪吊釣鶴

て
亭低停偵剃貞呈堤定帝底庭廷弟悌抵挺提梯汀碇禎程締艇訂諦蹄逓邸鄭釘鼎泥摘擢敵滴的笛適鏑溺哲徹撤轍迭鉄典填天展店添纏甜貼転顛点伝殿澱田電

と
兎吐堵塗妬屠徒斗杜渡登菟賭途都鍍砥砺努度土奴怒倒党冬凍刀唐塔塘套宕島鳩悼投搭東桃梼棟盗淘湯涛灯燈当痘祷等答筒糖統到董蕩藤討謄豆踏逃透鐙陶頭騰闘働動同堂導憧撞洞瞳童胴萄道銅峠鴇匿得徳涜特督禿篤毒独読栃橡凸突椴届鳶苫寅酉瀞噸屯惇敦沌豚遁頓呑曇鈍

な
奈那内乍凪薙謎灘捺鍋楢馴縄畷南楠軟難汝

に
二尼弐迩匂賑肉虹廿日乳入如尿韮任妊忍認

ぬ
濡

ね
禰祢寧葱猫熱年念捻撚燃粘

の
乃廼之埜嚢悩濃納能脳膿農覗蚤

は
巴把播覇杷波派琶破婆罵芭馬俳廃拝排敗杯盃牌背肺輩配倍培媒梅楳煤狽買売賠陪這蝿秤矧萩伯剥博拍柏泊白箔粕舶薄迫曝漠爆縛莫駁麦函箱硲箸肇筈櫨幡肌畑畠八鉢溌発醗髪伐罰抜筏閥鳩噺塙蛤隼伴判半反叛帆搬斑板氾汎版犯班畔繁般藩販範釆煩頒飯挽晩番盤磐蕃蛮

ひ
匪卑否妃庇彼悲扉批披斐比泌疲皮碑秘緋罷肥被誹費避非飛樋簸備尾微枇毘琵眉美鼻柊稗匹疋髭彦膝菱肘弼必畢筆逼桧姫媛紐百謬俵彪標氷漂瓢票表評豹廟描病秒苗錨鋲蒜蛭鰭品彬斌浜瀕貧賓頻敏瓶

ふ
不付埠夫婦富冨布府怖扶敷斧普浮父符腐膚芙譜負賦赴阜附侮撫武舞葡蕪部封楓風葺蕗伏副復幅服福腹複覆淵弗払沸仏物鮒分吻噴墳憤扮焚奮粉糞紛雰文聞

へ
丙併兵塀幣平弊柄並蔽閉陛米頁僻壁癖碧別瞥蔑箆偏変片篇編辺返遍便勉娩弁鞭

ほ
保舗鋪圃捕歩甫補輔穂募墓慕戊暮母簿菩倣俸包呆報奉宝峰峯崩庖抱捧放方朋法泡烹砲縫胞芳萌蓬蜂褒訪豊邦鋒飽鳳鵬乏亡傍剖坊妨帽忘忙房暴望某棒冒紡肪膨謀貌貿鉾防吠頬北僕卜墨撲朴牧睦穆釦勃没殆堀幌奔本翻凡盆

ま
摩磨魔麻埋妹昧枚毎哩槙幕膜枕鯖柾鱒桝亦俣又抹末沫迄侭繭麿万慢満漫蔓

み
味未魅巳箕岬密蜜湊蓑稔脈妙粍民眠

む
務夢無牟矛霧鵡椋婿娘

め
冥名命明盟迷銘鳴姪牝滅免棉綿緬面麺

も
摸模茂妄孟毛猛盲網耗蒙儲木黙目杢勿餅尤戻籾貰問悶紋門匁

や
也冶夜爺耶野弥矢厄役約薬訳躍靖柳薮鏃

ゆ
愉愈油癒諭輸唯佑優勇友宥幽悠憂揖有柚湧涌猶猷由祐裕誘遊邑郵雄融夕

よ
予余与誉輿預傭幼妖容庸揚揺擁曜楊様洋溶熔用窯羊耀葉蓉要謡踊遥陽養慾抑欲沃浴翌翼淀

ら
羅螺裸来莱頼雷洛絡落酪乱卵嵐欄濫藍蘭覧

り
利吏履李梨理璃痢裏裡里離陸律率立葎掠略劉流溜琉留硫粒隆竜龍侶慮旅虜了亮僚両凌寮料梁涼猟療瞭稜糧良諒遼量陵領力緑倫厘林淋燐琳臨輪隣鱗麟

る
瑠塁涙累類

れ
令伶例冷励嶺怜玲礼苓鈴隷零霊麗齢暦歴列劣烈裂廉恋憐漣煉簾練聯蓮連錬

ろ
呂魯櫓炉賂路露労婁廊弄朗楼榔浪漏牢狼篭老聾蝋郎六麓禄肋録論

わ
倭和話歪賄脇惑枠鷲亙亘鰐詫藁蕨椀湾碗腕

JIS第2水準漢字一覧

複数の読みがある漢字は、重複して掲載しています。

あ
亞侑傲價啖喘鳴嗟嘲圷址埃墟婀嫂寇廈彙怱悛慣扼晏晨晟晰曖曠椹殷沐洒浣淺游滌澹炙炯炮焙煥爭當痣皓皹盞矜矮糺綺縣羹聚與萓葭蔬薊藜藹蘆蛆蜊蜚覿誂諄證豈贖趾跌踪軋逓邂邉鐮阡隘霎霰靄鞋頴顯餡饒鮑鮫鰺鰒鰊鵜鷲堯

い
佚勳嚴圷壹奥巌巳帷廈廬弩彙忿慇愾愴憮戉戦摯曰桴棘櫟殷毬氣洟湮澳炒焉熨爲壹疣疼痩礒齋稻絲綸綛聊苺藺蚓蜀蝋蝗蠢訝詭誂諄諌諱鄙鈑鑄閾陋隕頤鯆鰛鱸鼬鼾

う
侑吽呻唸鳴嘔嘯婉嫗悁憫罹搏撼暈栩棯鬱沽疇疼盂碾筌糎紆茴萼藝蘊蛆蟒蠢袿裲謡謳賣釉鑿閾闥靱頌頴飩饂饉鶯鶲鷺齲

え
冤嚥圓婉嫣彗徊惠抉捐掏曰朶條榮槐泄衍逓渕湮烟焉狄穢筵箙篶綛繹翳腋莚蛯蜒蝪裔豌鉞閤霎靨鯣鰓

お
侈俤倨傀傲儼凰厖吝鳴嘔嚴囲嗇夥奢奥奸嫗屏崗帶惧愕惶慄慳懊懐應懐扼拗拝拇掟撥收斂晏朦朧枉檻櫻櫟汪游澳熨獺甌疽瘧穿筴縅脩隋膃荘蜃蟒諮諠邱隕隴竟頌頤颪飫餞驕鰛鴛鷺熙

か
仄佻會偕傀價冑函刮剋巻厠呵咀咬喀嗅噌囲壘夥奸姜嬶孵學嵌嶽巌帷度徊悍愕愾慳懐懽罹揶揄搦攪攫數旱暈暉枷枳檜栞框桿楷楫楮槐槁樂檻櫂欟沽浣涸滓溉煥煌燗燎燿爨爬猾獪獺珈瑕甌疥疳疸痒瘍瘡癇盥眷瞰矍礙窩竃竄筺筧箙篝籠簪籃糜絣綸絨罐羚羹翔翡翳脚膾臈舸艱艾茴菁葭萼蓊蓙虔蚋蠣蛞蛯蝸蝪蝣蝋蟷蟐塾蟇蠍蟷衙衿褶訛訝誄諌諧諤谺豈貉贓踝踵辣邂邯醸鉗鈎鉋錻閂閹霍鞋頴顆餉餡馘馥駱騙鬟鮹鰈鳧鳰鷲鵠鶚鷺鸛徽鼾齟齬

き
来倨兢几剪卉听咎哄喀嗅墟毀巌嫁姜嬌屓屹峡嵜悸愾愧憬憮截拮拱挟揆暉杞杣枳枢框梟檎棘槿橿檗櫪櫟欅蘗櫃欅毬麾氣淨澀炯炬狡狭瑕畸疆疵痩瘍瘧瘡癸皃矜礒秬奸筺筥糺絆綺緤羇膠舅莢菫薑蚯蛟蟯衾詭諱譴譏豈赳跪躬軋轢辟濾邱鋏鑚雉竟餃饉旭馼驕驤鬣魏鱚麒堯熙

ㄑ

來勳吼啖啾嘴囿國屎岫峆惧懺斟曖杞栩梳栭椚榳楔槫櫟湫澳爦癲皹眩瞑碎箝篾篾綟茱萸茹藏藥蚯蛄蛛踝踵鉤勒頸頹戡黎齲

ㄒ

儉刮劍劻勁卷呟嚴奎奸嶮巖彗惠慳憬抉拮楔檄檢櫸氣炯烟痙眩眷睨瞼礙襩穢筧箝縣繭胵腱鞬艾薊藝虔蛄蜆蜷螢螻蠍銜袹蓌訝蹊釵鉗閨險竟頸顯驗鯢鳧鴃鵙鶏韜

ㄓ

亢傲兒凩凰剋吐吼咬哄哮哭囿國毀壺壹壽夾媚寇峽崗崑廣徨怙恆恍惶慷應勷戀戮拱拵捏攪敲曠杞框桮棍榳楮槁毫汞沽洽洸涸淆渾漿濾炬煌狡狹猴珈琥琚瓠瘤皓盒盡睾礫稟笏箍箏筝篁篝籠粳糀繖纈羹聲肛胛胱膠荵薑薨蘚號蛄蛟蝠蝗蝙蟋蟀禈詁誅譽砑蹊轉逅鉤錮鏝鐺鑲閘靹餃閨魍魎鯒鱙鸛

ㄔ

倅凜剎哮噙嗟噪囁囀塹壯奠娑寞寥嵜崔彗彷徊徘徨悀惻塹憬搜晏柞椒棹椹榮榴樣櫻殷麾沛洒浚潔滓滄澤炸熾爨狹猜猴瑣疆疝盒砌碎磋礫礙祿齋竇笊笋簀簪聰臍莢蔗薈藹蛹蝪蠍鷯讒賽蹉躁逍鏨鑽鑿閂雜霰靱颯髏髑鰓鰆鷦鷯齊熙

ㄕ

乘侈侏俎僣兒廁呵呻咀咄咤啾嗟嗜嘴嘯嚼囁嚥嚼嗶嚥址塒壽奢姜娑娜婀宸實將屎岫峙嶌嶼幟廂從忸恣悄悛愼憔戌掟揉搦攝摯攘收敍斟昵晨晰杼枳栞栭條棕椒棯楫椹樅樒檢櫚鬱歿泗衍洵洒浚淨湮淋滓漿滲滌澁瀘炙炒熾燗猩疊疵疽痣痺癤皺盡眞睫睛祀祠齋稠穫笏笙筍箏笋篩簪籔絲絨綽縒繩繍績蓋翅翔聚雀聲肆脩臀臈舅舐舳芍茱茹茚莊菘菁蒟蓆蕭薈藥藷藉虱蛆蛛蜆蜀蜃蝨蝿蠏蜂蟯螯裝褥襄褶襦襦訶詛詢誦誣諄諡證讓贇贖趾蹂踵蹙踪朕邏遂逍醸釋鉈鍼鍮鎭鐔鑄鑠閾隲靜頌顰餉饒驗騒髏髑髪鮨鮹鰡鯱鰓鰄鰆鰌鱚鴟鵠鵜鶲鷯鷦麝齟槇

ㄖ

侑圖壽已彗悴拌捐掏擂數昂梳條橲毫漱潴燧犂狡皺穂簀篶稼蓋脛脩隋膟臑芻董菘藻蝪螟裔辶迪醉銛閘隧鬚魎魑鮨鯣鱸鼇

ㄗ

倅倅僣剎剪喘單塹悴截戰攝擅晟晰楔橇殱氈泄涎淺潔炙狹猩疝癬睛砌禪窪笘筌笶筏筮箋篾篠緤聳聲臍菁薇藉薺蘚蚋蝪蜥蜩褻贅蹙銛錢阡陋隘靜餞髯鴒鶺齊

ㄘ

仄俎倅倅孕雙咀噪囃壯嫂屹峙廂忖怱愴挎搜杣梳棕棗橇滄溉漱炒爭猜疽瘡盥竈竃笊笙篝箏笋籔粽總績聳聰艘莊蔬薔藪藏蛆裝詛諷謗譏讒贓踪躁郤雜颯鰺齟

ㄞ

井亢佇侘侑儼兌咤啖單噙嗜團埜垉壘娜婀嫋寶嶽帶帷幇彈怙悍憚憑截戰拿撻敲朶梳棣橡槃樂橙毯洸潭澤澹瀑炬燵爛爲默獺玳瑤璧當疊疽痰癬盥眈瞞磔筍箍篁糜糲糺緞繹羈隋荼蓼蓦薹袂襷謔譚譬貪赳躇躊迪逞鏨鐔頌頽颱駝駄騙験體鬩魄鮹鴕齊堯

ㄧ

佇佻偸冑嘲埃帙掉擲昵晁晝杼梃楮椹潔潴狆瑣疇疊稠笞粽緻膣舳蛛蜩螯蟲褶誄誂貂趙躇躅躊邏鍮鎭鑄閭闖雉魑鰈

ㄡ

亞傳儉兢几劍劻勁晅壺姜恆愾憑拿搗攬攫敍旁梃棍楹殱潴琲盡絆績罐翅苞蕾蘊虔褄訃赳跌蹉躅躑釉釦鋏鐔頌顆飄鶇

ㄟ

佚傳儡剎唸啼囀奠幀捏掟擲晟桿栝梃棣楷椽涕涅滌狄癲皓碾篆纒臂銜覿諂貂跌躑轉迪逞酊鈿鐡體熙

ㄝ

井俘偕偸吶咎咄咤嘲團壘壜嵩帷幀弩慟掏掉攝搗搏攬晨杼栩檮棘棹棠橙檢櫂檸濤滔獨獰瑙當疼盪瞠礪齋稻籐絨緞縢纜耄肭臀與艫茶薹蚌蛉蝪蝣蜥蜚蠑襠訥訶誦讀貪躅邨酘錮鑰鑓鑠陟鞆飩蠡髑鬩鰌鴟鵜鷯齊

ㄤ

儼雙哭啼喃嗟娜嬌愾慷慟懊拿拋擲棗泗泪洟涕濤瀾爲眅睥糲繩脩膾舐薺蛞蝓褻訛邊邉鉈霖鯵靡

ㄩ

兒怱搦棣榆渾滲瀑燗皰眈睨膠茹茶蒟蜷貳贅邇遽霍饒驟鯡鰊鶏

ㄨ

偸垉攘濘粳蓦鵺

ㄢ

塒佞恪勷拗捏捩棯檸涅濘猜諄闥鯰

ㄣ

乘亢佚嚥宸幟敍曰烽熨瑙禮篦脩芒詛詈鑿頌堯熙

は

儚凾刎辨匍匐卍咄喀喇囃夾婢孕寞峡嵌彈彙徘忖忸愧慙憚憊拜拌拂拮挟捩搏撥攀攘旛杞柞椒槃檗藥沛洟衍滔濱瀑焙爬獏玻珀琲瑪瓣疥癸盂瞞礫礬祓秣筺筥箒絆羞翅胚脛腑艀苺范茉菠萼萬蕈薔薇蝋蟇蟠袢襦詢譚貉貘賣跛跋邁鈑鉋鋏鍼雹霹颯餞驀驟鬟魄鬩鮃鰌鱧黴鼾遙

ひ

几剽曼單壜壼壽婢媚嬪嬪將屁屓屏廂廣彌彎憑憫扁拂攣旱晝暉枢檜檗藥櫃檳洽洸滉濱炯煥燧狒珀琲瓠疥痙痺痢皓皹眸睛矮砒碾祕齋棄禀糜罠罷翡脾臂苞薇蜚蟇襞襴譬贔跛跪轣迪鄙闊闢雹鞴蠏飄髀髯鬚魁鮃鰭鵜鶸靡黴齊熙

ふ

佛俘俯刎匐雙哺奎搬巫帙彿忿懐拂掉梟桴棹槫檄渕潭瘋祓祿笙箆箙篝篩總腑艀艘蚋蚌蝠蝮衾袱褌訃誣諤跋蹂躙輻迪郭錮鞴馥鰒鰤鰭鳧鴟鷲麩

へ

辨屁屏扁捐朶壁瓣眄睥瞑砒篦聘臍舳蝙螟袂襞諂諛貶辟辯邊邉酩闢霹騙鮃鼈

ほ

仄佛僥匍匐厄听吼咆哮哺埃塹寳彪幇彗彷彿恣拇抛擅旁旛昂朦桿梵榜檬歿殱沐澑炮烽焙黙琺瑁甌薨疱痣皰眸硼祠穂箒絣罐耄肆膀臍舫芒苞茫菠萠蒡蓁蛙鮑螢蟒畏謗謦邊鉈鉋鞴頌馗鰯鮑鯆鰡鷲

ま

俎卍巻曼圓團娑學寞將彪彎懣屍枉枡毬洵淆滿瑁當眞睫瞞瞼祀秣紆繚纒芻苺茉萬蝮蟇襠詢諄賣邁錻鏝雜饅驀髷鬘槇

み

實巫彌憫樒汞滿澪潴猩獏癸瞠瞰砌磋礬襖銛罠聊肆茗薨蚓蚯蛟螟躬迪醂阡隧霎馗鹹鶚鷦鷯靡遙

む

彪巫撻曠橿眸窩笘笞筵縢聟莚蟲貉貪賽邨鈍齲

め

惠暈瑠瑪眩瞑笹紆繚聘茗螟邂邏酪

も

傀刺址懣揉朦樅檬氈沐泄燗默疱齋糯耄脾舫艾芒萠銛靄髀魍鴃鵙

や

已恪悴憔扼揶晏棠椰烙燎築繹腋菟葯薮蕎薬循輻鑢頤鵺

ゆ

佻侑喩岼揄揺橋楡游疣禅綽臾舳茹萸蚰蝓蝣裄諛譲邁釉饒鼬

よ

豫兌夭佞孕憑拗揺攀様涎燿瑤痒瘍縒與艾萬葯蕭蕎蛹衾装詁誦謡謦讀酊酩酔閾醤鴦鸚遙熙

ら

來儡剌喇拉擂攪樂欒涮瀾烙燗爛癩磊禮籃纜薙雷襴辣邏醂駝駱騒鸞

り

凜吝寥崚廬悧恪慄罹戮榴櫚濾燎瘤稟禀築綸繚羚聊莉蓼蔭蘭蛤蜊裲詈躙輔醂鑢隴霖驢麺鷯凜

る

壘泪瘤縷髏

れ

冽戀捩攣斂檸檬櫟澪澱挈礪礫禮羚蔆蛉蠣轢靂鰊鱧鴒黎

ろ

廬拉朧柧樓櫟櫚濾瑯碌祿籠縷臘臈艫蘆螂螻轆轤鑢陋隴勒驢髏鱸

わ

侘辨听呵夭彎悸拌猥猾獪獰瓣矮穢穣窩罠腋膀藝蟠豌鞋

仕様

形式　：KL-M5

入力

キー配列　：JIS配列準拠
入力方法　：ローマ字入力、JISかな入力
変換方式　：熟語変換・単漢字変換

辞書

内蔵辞書数：熟語変換　約88,000語
　　単漢字変換　約13,000語

文字種

5,452文字
漢　　字：4,166文字
　　JIS第1水準 …… 2,965文字
　　JIS第2水準 …… 1,201文字
ひらがな：83文字
カタカナ：86文字
数　　字：10文字
アルファベット：52文字
ギリシア文字：48文字
ロシア文字：66文字
記号：385文字
絵　文　字：556文字

表示

液晶表示　：96×64ドット+シンボル(6桁×4行)
入力部分　：6桁×1行(フリーラベル以外での入力時)
　　6桁×3行(フリーラベル入力時のみ)
表示文字構成：16×16ドット(全角)
　　8 ×16ドット(半角…メニュー・メッセージ専用)
　　8 × 8 ドット(1/4角…メニュー・メッセージ専用)

印刷

印字密度　：200dpi
印刷方式　：熱転写方式
印字速度　：約11mm/秒
印字幅　：約12mm
　a)2mm(テープ幅 3.5mm)
　b)4mm(テープ幅 6mm)
　c)7mm(テープ幅 9mm)
　d)10mm(テープ幅 12mm)
　e)12mm(テープ幅 18mm/24mm)
文字構成　：ビットマップフォント
書　　体　：和文書体(明朝体※、ゴシック体※)
　欧文書体(明朝体※、ゴシック体※、ステンシル、ポップ)
　※この書体は、(財)日本規格協会と使用許諾契約を締結して使用しているものです。なお、フォントの一部には、弊社でデザインした外字を含みます。
　フォントとして無断複製することは禁止されています。
　平成明朝体™W8、平成角ゴシック体™W5
印刷方向　：横書き・縦書き・裏書き
印刷文字体：標準・太字・白抜
印刷行数　：3.5mm幅テープ使用時　1行印刷可能
　6mm幅テープ使用時　1～2行印刷可能
　9mm幅テープ使用時　1～3行印刷可能
　12mm幅テープ使用時　1～5行印刷可能
　18mm/24mm幅テープ使用時
　　1～6行印刷可能

内部記憶

文字編集用の記憶　：フォーマットごとに設定(フリーラベルでは127文字)
文字登録用の記憶　：1件
単漢字変換学習　：約10語

登録

テキストエリア一括登録(上書き)

電源・その他

動作用電源　：ACアダプター(AD-A12090L)
単3形アルカリ乾電池(8本・市販品)
消費電力　：14W
オートパワーオフ　：約6分
大きさ　：幅202mm×奥行216mm×高さ64mm(足含む)
重さ　：約750g(乾電池含まず)
使用温度　：10℃～35℃

別売品一覧

別売品のテープカートリッジの最新情報やネームランドの
新製品情報については、以下のURLをご確認ください。
http://www.casio.co.jp/d-stationery/nameland/

●テープカートリッジ

	テープ幅 / テープ色/柄	24ミリ 旧形番号(KR-24)	18ミリ 旧形番号(IR-18)	12ミリ 旧形番号(KR-12)	9ミリ 旧形番号(IR-9)	6ミリ 旧形番号(KR-6)	3.5ミリ
スタンダードテープ（8m）	白に黒文字	XR-24WE	XR-18WE	XR-12WE	XR-9WE	XR-6WE	XR-3WE
	黄に黒文字	XR-24YW	XR-18YW	XR-12YW	XR-9YW	XR-6YW	
	緑に黒文字	XR-24GN	XR-18GN	XR-12GN	XR-9GN	XR-6GN	
	赤に黒文字	XR-24RD	XR-18RD	XR-12RD	XR-9RD	XR-6RD	
	青に黒文字	XR-24BU	XR-18BU	XR-12BU	XR-9BU	XR-6BU	
	白に赤文字		XR-18WER	XR-12WER	XR-9WER		
	白に青文字		XR-18WEB	XR-12WEB	XR-9WEB		
	金に黒文字		XR-18GD	XR-12GD	XR-9GD		
	銀に黒文字		XR-18SR	XR-12SR	XR-9SR		
	黒に金文字		XR-18BKG		XR-9BKG		
	黒に銀文字		XR-18BKS		XR-9BKS		
	透明に黒文字	XR-24X	XR-18X	XR-12X	XR-9X	XR-6X	XR-3X
	透明に金文字		XR-18XG		XR-9XG		
	透明に銀文字		XR-18XS		XR-9XS		
	透明に赤文字		XR-18XRD		XR-9XRD		
白文字テープ（8m）	緑に白文字	XR-24AGN	XR-18AGN	XR-12AGN	XR-9AGN		
	赤に白文字	XR-24ARD	XR-18ARD	XR-12ARD	XR-9ARD		
	青に白文字	XR-24ABU	XR-18ABU	XR-12ABU	XR-9ABU		
	黒に白文字	XR-24ABK	XR-18ABK	XR-12ABK	XR-9ABK		
	透明に白文字	XR-24AX	XR-18AX	XR-12AX	XR-9AX		

	テープ幅 / テープ色/柄	24ミリ	18ミリ 旧形番号(IR-18F)	12ミリ	9ミリ	6ミリ
蛍光色テープ（5.5m）	蛍光ピンクに黒文字		XR-18FPK	XR-12FPK	XR-9FPK	
	蛍光赤に黒文字		XR-18FRD	XR-12FRD	XR-9FRD	
	蛍光オレンジに黒文字		XR-18FOE	XR-12FOE	XR-9FOE	
	蛍光黄に黒文字		XR-18FYW	XR-12FYW	XR-9FYW	
	蛍光緑に黒文字		XR-18FGN	XR-12FGN	XR-9FGN	
メンディングテープ（8m）	黒文字		XR-18MBK		XR-9MBK	
布転写テープ（1.5m）	黒文字で布地に転写		XR-118BK			
	赤文字で布地に転写		XR-118RD			
	青文字で布地に転写		XR-118BU			
インスタントレタリングテープ（8m）	黒文字		XR-18LBK			
反射テープ（1.5m）	反射黄に黒文字		XR-18RYW			

メンディングテープ
表面をつや消し加工したマットタイプのテープで、貼っても目立たず、コピーしたときでも影が出にくいテープです。また、光らないため図面の修正などに便利です。

布転写テープ
印刷した文字をアイロンを使ってお子様の衣類などに転写するときに使います。*1

インスタントレタリングテープ
印刷した文字だけをノートなどの紙に転写するときに使います。*2

反射テープ
ヘッドライトや懐中電灯等の光に反射するテープで、夜間の安全対策に便利です。*3

*1 化繊、ウール、絹、デニム、パイルなど、布地によっては転写できない場合があります。

*2 転写先の紙質によっては転写できない場合があります。

*3 特殊テープのため別売の「マグネットテープ用ハサミ」または市販のハサミを使ってカットしてください。

	テープ幅 / テープ色/柄	24ミリ	18ミリ	12ミリ	9ミリ	6ミリ
サンリオキャラクターテープ（5.5m）	ハローキティ		XR-18S1			
	けろけろけろっぴ		XR-18S2			
	ポチャッコ		XR-18S3			
	バッドばつ丸		XR-18S4			
	バッドばつ丸とその仲間		XR-18S5			
強粘着テープ（5.5m）	白に黒文字		XR-18GWE	XR-12GWE	XR-9GWE	
	透明に黒文字		XR-18GX	XR-12GX	XR-9GX	
	黄に黒文字		XR-18GYW	XR-12GYW	XR-9GYW	
抗菌テープ（5.5m）	白に黒文字		XR-18BWE	XR-12BWE	XR-9BWE	
	透明に黒文字		XR-18BX	XR-12BX	XR-9BX	
	青に黒文字		XR-18BBU	XR-12BBU	XR-9BBU	

サンリオキャラクターテープ
サンリオキャラクターの絵柄が入った楽しいテープです。
© 1976,1988,1989,1993,2005 SANRIO CO., LTD.

強粘着テープ
接着しにくい場所に貼り付けるときや、長期間にわたってラベルを貼り付けておくときに便利です。

抗菌テープ
抗菌剤を配合することにより、細菌の増殖を抑制する作用があります。
共同で使用するものや、キッチン周りで使用する場合に便利です。

	テープ幅 / テープ色/柄	24ミリ	18ミリ	12ミリ	9ミリ	6ミリ
マグネットテープ（1.5m）	白に黒文字	XR-24JWE				
	黄に黒文字	XR-24JYW				
カラーラインテープ（4.0m）	赤に黒文字		XR-18TRD	XR-12TRD		
	青に黒文字		XR-18TBU	XR-12TBU		
	黄に黒文字		XR-18TYW	XR-12TYW		
	緑に黒文字		XR-18TGN	XR-12TGN		
アテンションテープ（4.0m）	黒/黄に赤文字	XR-24W1				

マグネットテープ
印刷後そのまま、ホワイトボードや冷蔵庫などスチール製のものへ繰り返し貼り付けができます。*4 *5

カラーラインテープ
白地にカラーラインが入ったテープです。ファイルなどジャンルの分類に便利です。

ラインの色によりジャンルを分類できます。

アテンションテープ
注意を促す場所や危険な場所に貼ると効果的です。テープ色、テープ柄と文字色の対比によりラベルの文字を目立たせることができます。

*4 特殊テープのため別売の「マグネットテープ用ハサミ」または市販のハサミを使ってカットしてください。

*5 磁気を使った特殊テープですので、フロッピーディスク、磁気カード、切符等には近づけないでください。

● クリーニングテープ
XR-24CLE
長期間ご使用になると、プリンターヘッドにホコリがたまることがあります。クリーニングテープを使えば、そのホコリ等を取り除くことができ、きれいな文字を印刷できます。

● ネームランド用ハサミ
CU-10
9ミリ幅～24ミリ幅テープのカドを丸くしたり、カット部を波型に仕上げることができます。

● マグネットテープ用ハサミ
CU-15J
本機に装着されているカッターの消耗を避けるためのハサミです。

※品切れの際はご容赦ください。
※別売品については一部予告なしに変更となる可能性があります。

索引

キー

△ ▽ ◁ ▷ …… 47
aA …… 48
ON OFF …… 10
あア …… 48
印刷 …… 19
印刷プレビュー …… 19,22
機能 …… 20
空白 …… 50
後退 …… 56
書式 …… 34
実行 …… 19
シフト …… 50,53
設定 …… 63
縦書印刷 …… 41
単漢字 …… 52
取消し …… 20
フォント …… 60
フレーム印刷 …… 40
変換 …… 50
無変換 …… 49
文字削除 …… 56

記号・アルファベット・数字

ACアダプター …… 13
CD-R用ラベル …… 80
MD用ラベル …… 80
VHS用ラベル …… 80

あ行

アフターサービス …… 95
網掛 …… 62
アルファベットの入れかた …… 53
イメージャー表示 …… 33
印刷 …… 23
印刷濃度 …… 64
印刷プレビュー …… 19,22
印刷方向 …… 34
印字サイズ …… 38
裏書き …… 34
上書き …… 58
絵文字 …… 55
絵文字一覧 …… 76
エラーメッセージ …… 72
オートパワーオフ …… 15
大文字の入れかた(アルファベット) … 53
送り無 …… 35

か行

カーソル …… 47
改行 …… 33
確定 …… 53
各部の名前 …… 10
下線(修飾) …… 62
下線(変換) …… 51
カタカナの入れかた …… 49
カタカナ変換 …… 49
カットモード …… 42
かな漢字まじり文の入れかた …… 50
かな入力 …… 48
画面の見かた …… 21
漢字の入れかた …… 50
乾電池 …… 67
乾電池カバー …… 67
キー …… 19
キーボード …… 19
キーのはたらき …… 19
記号一覧 …… 76
記号の入れかた …… 54
輝度(画面) …… 63
行頭 …… 47
行末 …… 47
均等 …… 37
均等割付(文字) …… 37
クリーニング …… 68
後退 …… 56
ゴシック体 …… 59
故障かな?と思ったら …… 69
ゴムローラー …… 68
小文字の入れかた(アルファベット) … 54
小文字(促音、拗音)の入れかた
(ひらがな・カタカナ) …… 50

さ行

削除(部分) …… 57
削除(文削除) …… 57
削除(文字削除) …… 56
ジャストフィット印刷 …… 38
ジャストフィットマーク …… 39
収納部オープンボタン …… 10
熟語変換 …… 50
仕様 …… 89
初期化 …… 15
初期設定 …… 15
初期フォント …… 60
書式 …… 34
書体 …… 59
白抜 …… 61
数字の入れかた …… 54
スクロール …… 47
ステンシル …… 59
設定
　印刷濃度 …… 64
　輝度調整 …… 63
　初期フォント …… 60
　挿入／上書き …… 58
　ローマ字／かな入力 …… 48
　デモ印刷 …… 64
前候補 …… 51
全文削除 …… 57
全文頭 …… 47
全文末 …… 47
挿入 …… 58

た行

縦書き印刷 …… 34
縦横同時印刷 …… 41
単漢字変換 …… 52
データの登録 …… 45
データの保持 …… 14
データの呼出し …… 45
テープ …… 17
テープ送り …… 24
テープカートリッジ …… 17
テープカートリッジ収納部のカバー … 10
テープカートリッジのセット …… 17
テープカートリッジの取り出し …… 18
テープガイド …… 17
テープカット …… 42
テープ長固定 …… 36
テープ出口 …… 10
テープの長さ …… 36
テープ幅と行数・倍率一覧 …… 83
デモ印刷 …… 64
電源 …… 13
電源を入れる …… 15
電源を切る …… 15
電池をセットする …… 67
登録 …… 45
同音異義語変換 …… 51

な行

内蔵漢字一覧 …… 84
中寄せ …… 37
ナンバリング(通し番号ラベル) …… 30
入力
　絵文字 …… 55
　記号 …… 54
　文字 …… 48

は行

倍率マーク …… 39
微小フォント …… 39,61
左寄せ …… 37
表示画面 …… 21
ひらがなの入れかた …… 49
フォーマット …… 28
フォント(書体) …… 59
付属品 …… 11
太字 …… 61
部分削除 …… 57
フリーラベル …… 22,32
プリンターヘッド …… 18
フレーム …… 40
フレーム一覧 …… 79
プレビュー画面 …… 22
文削除 …… 57
別売品一覧 …… 91
変換
　カタカナ …… 49
　熟語 …… 50
　単漢字 …… 52
　同音異義語 …… 51
方向(印刷方向) …… 34
ポップ …… 59
保証 …… 95

ま行

右寄せ …… 37
明朝体 …… 59
メモリー(登録) …… 45
メモリーの初期化(リセット) …… 15
文字間隔 …… 34
文字キー …… 20
文字サイズ …… 38
文字削除 …… 56
文字修飾 …… 62
文字体 …… 61
文字の入れかた …… 48
文字の訂正 …… 56
文字倍率 …… 38
文字割付 …… 37

や行

用途別ラベル …… 28
用途別ラベルフォーマット一覧 …… 80
余白 …… 35

ら行

リセット(初期化) …… 15
ローマ字入力 …… 48
ローマ字入力一覧 …… 74

わ行

枠付 …… 62
割付 …… 37

保証・アフターサービスについて

■保証書はよくお読みください
保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

■保証期間は保証書に記載されています。

■修理を依頼されるときは
まず、もう一度、取扱説明書に従って正しく操作していただき、直らないときには次の処置をしてください。

● 保証期間中は
保証書の規定に従ってお買い上げの販売店または取扱説明書等に記載のカシオテクノ修理相談窓口が修理をさせていただきます。
- 保証書に「持込修理」と記載されているものは、製品に保証書を添えてご持参またはご送付ください。
- 保証書に「出張修理」と記載されているものは、お買い上げの販売店または取扱説明書等に記載のカシオテクノ修理相談窓口までご連絡ください。

● 保証期間が過ぎているときは
お買い上げの販売店または取扱説明書等に記載のカシオテクノ修理相談窓口までご連絡ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

■あらかじめご了承いただきたいこと
● 「修理のとき一部代替部品を使わせていただくこと」や「修理が困難な場合には、修理せず同等品と交換させていただくこと」があります。
また、特別注文された製品の修理では、ケースなどをカシオ純正部品と交換させていただくことがあります。
● 修理のとき、交換した部品を再生、再利用する場合があります。修理受付時に特段のお申し出がない限り、交換した部品は弊社にて引き取らせていただきます。
● 修理のとき、故障原因の解析のため、データや画像を確認させていただくことがあります。
● 日本国内向けの製品は海外での修理受付ができません。修理品は日本まで移動の上、日本国内のカシオテクノ修理相談窓口にご依頼ください。

■アフターサービスなどについておわかりにならないときは
お買い上げの販売店または取扱説明書等に記載のカシオテクノ修理相談窓口にお問い合わせください。

MEMO

お客様ご相談窓口

機能・操作のご相談窓口 ⇨ カシオお客様相談室

市内通話料金でOK ナビダイヤル

0570-088901 市内通話料金のみでご利用いただけます。

受付時間　月曜日～土曜日 AM9:00～PM5:30（日・祝日・年末年始・夏期休暇等は除く）
携帯電話・PHS等をご利用の場合は、03-5334-4828（東京）／
06-6243-6180（大阪）をご利用ください。

修理のご相談窓口 ⇨ カシオテクノ修理相談窓口

修理品のお持ち込みはできません。ご送付のみの受付となります。
修理品をお持ち込みいただく場合は、カシオテクノ・サービスステーションをご利用ください。
※ご送付される場合の送料および諸掛りはお客様のご負担となります。

東日本リペアセンター（北海道・東北・関東・信越）

市内通話料金でOK ナビダイヤル

0570-004161 市内通話料金のみでご利用いただけます。

〒208-0023 東京都武蔵村山市伊奈平3-28-2
（携帯電話・PHS等をご利用の場合 TEL.042-560-4161）

西日本リペアセンター（北陸・東海・近畿）

市内通話料金でOK ナビダイヤル

0570-000541 市内通話料金のみでご利用いただけます。

〒485-0822 愛知県小牧市上末2233-1
（携帯電話・PHS等をご利用の場合 TEL.0568-47-0541）

中四国コンシューマサービスステーション（中国・四国）

TEL.082-230-5900

〒736-0068 広島県安芸郡海田町新町10-13

九州コンシューマサービスステーション（九州）

TEL.092-411-2939

〒812-0007 福岡県福岡市博多区東比恵2-16-23カシオ福岡ビル2F

受付時間：月曜日～土曜日　AM9:00～PM6:30（日・祝日・年末年始・夏期休暇等は除く）

カシオテクノ・サービスステーション

修理品の「お持ち込み」を受け付けております（お買い上げの販売店へのお持ち込みも可能です）。
カシオ製品のアフターサービス業務は、カシオテクノ株式会社が担当いたします。

北海道

札　幌 ☎011－281－1231
〒060-0063 札幌市中央区南3条西10－1001－5

東　北

仙　台 ☎022－256－8822
〒983-0852 仙台市宮城野区福岡5－1－35

盛　岡 ☎019－646－3395
〒020-0122 盛岡市みたけ6－15－5

関　東

宇都宮 ☎028－623－5588
〒320-0053 宇都宮市戸祭町3009－8

高　崎 ☎027－322－9555
〒370-0831 高崎市新町67－1

埼　玉 ☎048－250－2660
〒332-8521 川口市栄町3－1－8

千　葉 ☎043－243－1087
〒260-0022 千葉市中央区神明町13－4

秋葉原 ☎03－5820－9871
〒101-0025 千代田区神田佐久間町2－23

横　浜 ☎045－441－2177
〒221-0052 横浜市神奈川区栄町3－12

信　越

新　潟 ☎025－287－1151
〒950-0325 新潟市弁天橋通り3－9－12

長　野 ☎026－222－3250
〒380-0912 長野市大字稲葉字日詰1592－1

北　陸

金　沢 ☎076－224－0061
〒920-0027 金沢市駅西新町2－1－35

東　海

静　岡 ☎054－281－8085
〒422-8056 静岡市駿河区津島町16－23

名古屋 ☎052－324－2151
〒460-0024 名古屋市中区正木3－9－27

近　畿

京　都 ☎075－351－1161
〒600-8107 京都市下京区五条通新町東入ル柿本町186

大　阪 ☎06－6243－6211
〒541-0056 大阪市中央区久太郎町3－6－8

神　戸 ☎078－392－2145
〒650-0033 神戸市中央区江戸町85－1

中　国

岡　山 ☎086－244－3404
〒700-0926 岡山市西古松西町9－1

広　島 ☎082－230－5900
〒733-0001 広島市西区大芝2－14－10

四　国

高　松 ☎087－837－7641
〒760-0078 高松市今里町2－21

九　州

福　岡 ☎092－411－2939
〒812-0007 福岡市博多区東比恵2－16－23

熊　本 ☎096－367－0614
〒862-0911 熊本市健軍1－38－7

鹿児島 ☎099－256－3573
〒890-0065 鹿児島市郡元1－1－3

※住所・電話番号などは変更になることがあります。あらかじめご了承ください。

CASIO

カシオ計算機株式会社

〒151-8543　東京都渋谷区本町1-6-2

MO0511-B　　Printed in China